

東消防署訓練設備改修工事

意匠設計図	
A-01	改修 特記仕様書 (1)
A-02	改修 特記仕様書 (2)
A-03	改修 特記仕様書 (3)
A-04	改修 特記仕様書 (4)
A-05	工事概要・付近見取図・配置図
A-06	全体1階平面図
A-07	全体4階平面図
A-08	立面図
A-09	【庁舎】階段(1) ホール詳細図01 (撤去)
A-10	【庁舎】階段(1) ホール詳細図02 (改修)
A-11	【訓練A棟】外部はしご詳細図 (撤去・改修)
A-12	【訓練A棟】煙道詳細図01 (撤去・改修)
A-13	【訓練A棟】煙道詳細図02 (撤去・改修)
A-14	【訓練A棟】4階放水訓練室詳細図 (撤去・改修)
A-15	【訓練B棟】プール詳細図 (改修)

東消防署訓練設備改修工事 特記仕様書
I 工事概要
1. 工事場所 高知市高須砂地230番地2
2. 工事種目 【庁舎】 鉄骨鉄筋コンクリート造 6階建て 延べ面積3,209㎡
3. 関連工事等 電気設備工事・機械設備工事・ガス設備工事・昇降機設備工事・植栽工事
4. 概成工期 完成期限の()日前 (令和 年 月 日)
5. 部分使用(工事請負契約書第34条第1項) 令和 年 月 日からは、全ての室内部分を使用する。
II 建築工事仕様
1. 特記仕様
1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印のつかない場合は、※印の付いたものを適用する。
3) 特記事項に記載の()内表示番号は、「公共建築工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。
2. 適用基準等
図面及び特記事項に記載されていない事項は、全て国土交通省(建設)大臣官房官庁審議部監修の以下による。
3. 「週休2日制モデル工事」の実施について
対象 (発注者指定型) (受注者希望型)
本工事は、工事着手日から工事完成日までの間の土曜日及び日曜日を現場の休工日の基本とする「週休2日制モデル工事」の対象工事である。実施にあたっては高知市「週休2日制モデル工事」執行要領(高須工務)による。
(https://www.city.kochi.kochi.jp/soshiki/123/syukyuhutsuka.html)
・対象外(理由:)

項目 特記事項
一般共通事項
1 工事実績情報サービス(CORINS)への登録(請負金額500万円以上)(受注、変更、完成時)
登録の手続きについては、(一財)日本建設情報総合センターの「建設実績情報のコリンズ」テクリス登録等に関する規約による。
2 総合工程表
原則、工事の着手に先立ち、別契約関連工事の受注者と協議し、受注者及び別契約関連工事の受注者連名による総合工程表を監督職員に提出する。
3 総合図
工事の施工に先立ち別契約関連工事の受注者と調整のうえ、総合図を作成し、監督職員の承諾を受ける。
4 工事日誌
週ごとに工事の全般的な経過及び次週の工事予定を記載した日誌を監督職員に提出する。また、工事の経過が明確にわかる写真を貼付すること。
5 工事写真
工事写真は1版程度とし、工事の内容、日付等必要事項を記入し1部提出する。(A4版台紙)撮影方法は、「営繕工事写真撮影要領(令和5年版)」による。デジタル工事写真の黒板情報電子化の実施をする場合は、監督職員の承諾を受ける。なお、実施については、国営建技第14号(令和5年3月1日付)「デジタル工事写真の黒板情報電子化について」による。
6 下請負者の報告
各下請負者については下請負契約前に監督職員に報告する。
7 電気保安技術者
適用する。
8 施工条件
施工日及び施工時間 ※1.3.5(1)(7)による。
・ 施工順序 図示
工事用車両の駐車場所及び資機材の置場所 ※ 仮囲内 図示
その他の施工条件
資機材の搬入時には、専任の誘導員を配置する。その他の場合でも、工事関係車両(乗用車を含む)が敷地内を通行する際には必ず誘導するものをつけ、公道まで係行する。
・ 登下校時間帯や休み時間等は車両の通行を中止する等必要な配慮をする。
9 交通誘導警備員
交通誘導警備員を配置する場合は、原則として警備業法(昭和47年法律第117号)第4条による認定を受けた警備業者の警備員を配置することとし、建設作業員等の他職種の者を従事させないこととする。ただし、一時的な作業等で、安全確保に対応できると監督職員が認めたものについては、この限りでないものとする。
配置人員等
・ 令和 年 月 日から令和 年 月 日までの間は 名常駐する。
・ 作業日は 名常駐する。その他監督職員と協議し、適宜配置する。
・ 監督職員と協議し、適宜配置する。

項目 特記事項
配置人員の資格
・ 1名以上/1班は交通誘導警備業務に係る検定合格者(1級又は2級)を配置する工事。
※交通誘導に関し、1名以上/1班は専門的な知識及び技能を有する警備員等を配置する工事。
資格要件
1. 2級交通誘導警備員(交通誘導警備員A)
交通誘導警備員に關して、公安委員会が学科及び実施試験を行い、専門的な知識及び技能を有すると認められたもの
2. 3級交通誘導警備員(交通誘導警備員B)
警備業法における指定講習を受講したものの、警備業法における基本的基礎教育及び業務別教育(警備業法第2条第1項第2号の警備業務)を現に受けているもので、交通誘導に関する警備業務に従事した期間(実務経験年数)が1年以上であるもの
3
なお、事前に監督職員に検定合格証の写し等の資格要件の確認できる資料を提出する。また、警備員等に変更が生じた場合は、速やかに監督職員に同様の資料を提出する。
10 工事安全計画書
建設工事公衆災害防止対策要綱及び建築工事安全施工技術指針を参考に、工事安全計画書を監督職員に提出する。
11 統括安全衛生管理義務者の指名
労働安全衛生法第30条第2項に基づき指名をする。
12 発生材の処理
産業廃棄物の運搬、処分等については、1.3.12により適切に処分するものとし、[1.3.12]
事前に監督職員に処理計画書を提出する。
産業廃棄物の運搬、あるいは処分を他業者に委託する場合は、書面による委託契約を行い、処理計画書にその写しを添付する。
自己処分場へ処分する場合は、その処分場が関係法令の規定に適合する旨の資料を提出し、監督職員の現地立会を受けたうえで承諾を得る。(積替・保管についても同様とする)
産業廃棄物の収集・運搬に当たっては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律(以下廃棄物処理法という)施行令に基づく車両への表示及び書面の備え付けを行うこと。
また、産業廃棄物を搬出する車両について、処分場ごとに1台のみ写真撮影(現場搬出時及び処分場到着時)し、随時監督職員に報告する。
廃棄物処理法を遵守し、工期限内に最終処分(埋立処分、海洋投入処分又は再生)を終了しなければならない。
また、産業廃棄物管理票(以下 manifests という)により適正に処理されていることを確認するとともに、監督職員にそのE票の写しを提出する。
ただし、廃棄物処理法を遵守した上で、工期限内に産業廃棄物の最終処分を終了することが困難な場合で、監督職員が認める場合においては、工期限内に中間処理業者への搬入を終了すればよいものとする。この場合、manifestsにより適正に中間処理業者へ搬入されていることを確認するとともに、監督職員にそのB2票の写しを提出する。また、最終処分終了後速やかにE票の写しを提出する。
なお、廃棄物処理法に定める電子情報処理組織を使用する場合は別途協議する。
・ 引渡しを要するもの ()
・ 現場再利用を図るもの ()
・ 再資源化を図るもの (※コンクリート ※コンクリート及び鉄から成る建設資材 ※木材 ※アスファルトコンクリート)
特別管理産業廃棄物の施工計画調査
※行う
分析調査
※施工計画調査の結果により、監督職員と協議する。
・ 行う () ・ 行わない ()
・ PCBを含む機器類
・ 変圧器
・ コンデンサ
・ 蛍光灯、HID器具の安定器
・ その他 ()
・ PCB含有シーリング材
・ 廃油
・ 廃酸 廃アルカリ
・ 臭化リチウム水溶液
・ 電池の溶解液
・ ダイオキシン類
13 再生資源利用(促進)
再生資源利用(促進)計画書及び実施書を、建設副産物情報交換システム(COBRIS)により作成し、提出は以下による。
a) COBRISについては、建設副産物情報センターのホームページ(http://www.recycle.jacic.or.jp)より、利用申請等を行うことができる。
b) 建設資材の利用量の大小や有無に関らず、紙に出力した再生資源利用計画書及び実施書(建設リサイクルガイドライン様式1)を、完成資料として監督職員に提出する。
c) 建設副産物の発生量及び搬出量の大小や有無に関らず、紙に出力した再生資源利用促進計画書及び実施書(建設リサイクルガイドライン様式2)を、完成資料として監督職員に提出する。
d) 受注者は再生資源利用(促進)計画書(現場掲示用様式)を工事現場の見やすい場所に掲げること。
e) 受注者は作成したデータを含め、再生資源利用(促進)計画書及び実施書を工事完成後5年間保存する。
14 工事の保険
工事請負契約後、速やかに工事目的物、工事材料等に生じる損害、第三者に及ぼした損害を補償する保険を締結する。保険期間は、工事着工のときから完成期限より24日後以降までの期間とする。
※ 金銭的保証方式
・ 有 () ・ 無 ()
15 証明書の提出(グリーン購入法)
「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)及び「高知県グリーン購入基本方針及び実施計画」に基づき、重点調達品目については、積極的に利用すること。なお、重点調達品目の中で木材・木材製品等においては、その原料とされる原木が生産された国における森林に関する法律に照らして合法なものを使用する。
木材・木材製品等については、県産木材納入証明書、県外産合法木材納入証明書を監督職員に提出すること。 [1.4.2]
16 事前調査の報告
一定規模以上の工事は労働基準監督署と高知市に報告が必要となる [1.5.1]
事前調査範囲 ※ 改修範囲
貸与資料 ※ 有 () (既存の設計図書) (分析調査 石こうボード(含有無))
・ 無 ()
分析調査 ※ 書面調査及び現地での目視調査の結果により、監督職員と協議する。
・ 行う (調査建材使用部位 調査建材名 検体数)
分析結果 ※ 定性分析
定性分析の結果により、定量分析を行う場合は監督職員と協議する。

項目 特記事項
19 施工数量調査
調査範囲 ※ 図示 ・ 改修建築物の外壁、軒天、パラペット [1.6.2]
調査方法 ※ 外部足場を使用し目視及び打診
破損部分の補修方法 ※ 現状に復旧
外壁調査は、外壁改修フローに対する外壁面のひび割れ、浮き、欠損部、内部まで貫通したひび割れ及び雨漏りの有無についての位置及び数量(幅、長さ、面積)の調査を行う。また、その調査の結果を立面図等に記載し集計表を添えて電子データと共に、監督職員に報告する。(必要に応じ写真等を添付する)
20 技能士及び技能資格者
※ 適用する (○:一級, ●:二級) [1.7.2][1.7.3]
工事種別 技能検定の作業の種別
○仮設工事 ※ ●とび作業(又は足場組立作業主任者)
・ 鉄骨工事 ※ ○鉄骨組立作業
・ コンクリート工事 ※ ○コンクリート圧送工事作業 ・ ○型枠工事作業
・ 鉄骨工事 ※ ●とび作業
・ ブロック・ALCパネル工事 ※ ○コンクリートブロック工事作業
・ (単一)エーメルシーパネル工事作業
○防水工事
・ ○アスファルト防水工事作業
・ ○ウレタンゴム系塗膜防水工事作業
・ ○アクリルゴム系塗膜防水工事作業
・ ○合成ゴムシート防水工事作業
・ ○塩化ビニルシート防水工事作業
・ ○セメント系防水工事作業 ○シーリング防水工事作業
・ ○改良アスファルトシートトーチ工法防水工事作業
・ ○FRP防水工事作業
・ 石工事 ※ ○石張り作業
・ タイル工事 ※ ○タイル張り作業
・ 木工事 ※ ○大工工事作業
・ 屋根及びびとい工事 ※ ○かわらぶき ・ ●スレート工事作業 ・ ○内外装板金作業
・ 金属工事 ※ ○鋼製下地工事作業 ・ (単一)金属製バルコニー工事作業
・ 左官工事 ※ ○左官作業
・ 建具工事
・ ○ビル用サッシ施工作業
・ ○木製建具製作 ・ ○ガラス工事作業
・ カーテンウォール工事 ※ ○金属製カーテンウォール工事作業
・ 塗装工事 ※ ○建築塗装作業
○内装工事
・ ○プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ ○壁装作業
・ ●カーペット系床仕上げ工事作業 ・ ○畳製作作業
・ ○ボード仕上げ工事作業
・ 植栽工事 ※ ○造園工事作業
・ その他
・ ○樹脂接着剤注入工事作業(エポキシ樹脂注入工事)
又は(単一)樹脂接着剤注入工事作業(エポキシ樹脂注入工事)
・ ○家具手加工作業
適用する技能士について、当該資格を有することが確認できる書類及び資格者が特定できる書類(運転免許証等)の写しを提出する。
21 化学物質の室内濃度の測定
化学物質の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、報告書を監督職員に提出する。 [1.7.9]
ただし、完成検査前に報告書の提出が困難な場合は、事前に信頼のおける速報等の資料を監督職員に提出する。この場合、後日に正式な報告書を速やかに監督職員に提出しなければならない。測定する業者の選定にあたっては、あらかじめ監督職員に報告すること。
測定方法
※ 厚生労働省「室内空气中化学物質の室内濃度指針値及び標準的測定方法について」による。
測定対象化学物質
※ ホルムアルデヒド ※ トルエン ※ キシレン ※ エチルベンゼン
※ スチレン ※ パラジクロロベンゼン
測定箇所 ()箇所 施工前・施工後(計 回測定)
測定対象室 ()
なお、測定結果が厚生労働省の定める指針値を超えている場合は、原則として本工事の引き渡しを行わないこととする。ただし、次のいずれかに該当する場合は除く。
1 何らかの対策が施された結果、揮発性有機化合物の濃度が厚生労働省の定める指針値以下となったことが確認された場合。
2 濃度測定の結果が、本工事の施工により生じたものでないことが明確である場合。
3 濃度測定が、使用開始後(備品の搬入等を含む)に行われた場合。
本工事の引き渡し後、あるいは、使用開始後に室内の揮発性有機化合物(VOC)の濃度測定が行われ、測定結果が厚生労働省の指針値を超えている場合については、受注者は、工事引き渡し後であっても、その原因究明に当たって協力しなければならない。
また、本工事の施工が原因となって、化学物質の濃度が厚生労働省の定める指針値を超えたものであることが判明した場合は、受注者の負担により、その対策を講じなければならない。
22 直接仮設の養生
内部養生に合板又は構造用パネルを使用する場合、その合板または構造用パネルのホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆☆、又はそれと同等と認められる製品を使用する。
23 建築材料等
本工事に使用する材料等のうち、特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。(記載順序は不同)また、「評価名簿による」「評価名簿による」と特記されたものについては、(一社)公共建築協会発行の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿」によるもの、又は評価の内容についてこれらと同等と認められるものとする。ただし、同等とする場合は、監督職員の承諾を受ける。
県内産資材の優先使用
本工事に使用する資材は、機能、品質、価格等が同等であれば、県内産資材を優先して使用するものとする。なお、県外産資材を使用する場合は、使用理由を施工計画書の打合せ事項に記載し、監督職員の確認を受けること。
注1: 県内産資材とは、高知県内で産出した原材料を用いて、高知県内で製造、加工した資材、又は高知県外で産出した原材料を用いて、高知県内で製造、加工された資材をいう。ただし、①木材は、高知県内の森林から生産されたもの、②生コンクリートの細骨材に配合する海砂は、高知県内で産出されたものとする。
注2: 県外産資材とは、県内産資材以外の資材をいう。
24 特別な材料の工法
公共建築工事標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、監督職員の承諾を受けて当該材料製造所の指定する工法による。
25 風圧力
本工事に使用する材料及び工法は、建築基準法に基づき定まる風圧力に対応したものとし、速度圧を求める場合の風速(Vo)及び地表面粗土区分は、次の数値とする。
風速(Vo): ※ 38m/sec ・ 36m/sec 地表面粗土区分: ※ III ・ II
26 仕上面の出隅処理
内外部とも仕上出隅で利用者の手の届く範囲は、図示が無くとも原則として全て面取りを施す。
木部(家具を含む) 6mm程度
コンクリート、モルタル部 20mm程度
鉄部、金属部 3mm程度
建具類等、上記により難い場合は、監督職員と協議する。

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項
27 事業損失補償	※現場説明書による。 完成時の提出図書 ・完成図(作成範囲・配置図・平面図・立面図・断面図・仕上表) [1.9.1][1.9.2] ・完成図(CADデータの提出 ※する(CD-R等)・しない) [1.9.3] ・保安に関する資料(提出部数 ※2部・部) [1.9.3] 上記のほか、使用材料のメーカー名、品番、色(マンセル値等)をCADデータ等で監督職員に提出する。 また、工種別下請負者の一覧表を提出する。 ・施工図、施工計画書 [1.9.2] 提出した施工図及び施工計画書の著作に係る当該建物に限る著作権は、発注者に譲渡するものとする。	5 監督職員の備品等	備品等の設置 [2.4.1][2.4.1] 備品の種類 机・椅子 書棚 黒板 PC 掛時計 数量 組 台 枚 台 個 備品の種類 温度計 ゴム長靴 雨がっぱ 保護帽 懐中電灯 数量 個 足 着 個 個 備品の種類 衣類ロッカー 冷暖房機器 消火器 湯沸器 加入電話付風扇 数量 人用 台 個 台 台 備品の種類 掃除具 数量 個 構内既存の施設(用水) ⑧利用できる (※有償・無償) ※利用できない 構内既存の施設(電力) ⑧利用できる (※有償・無償) ※利用できない 構内既存の施設を利用できる場合で、無償の場合は、下記a)~c)による。 a) 既存設備の水栓等から直接水を使用する場合は、監督職員と協議する。 b) 既存のコンセントから直接電力を使用する場合は、監督職員と協議する。 c) 工事用電源を既存建築物から分岐する場合は、原則、既設分電盤の共用回路のコンセントからとする。なお、接続する回路の負荷状態等を確認し、既設負荷への波及がないようにする。 また、漏電遮断器付コンセント等を使用し、安全の確保を図る。 構内既存の施設を利用できる場合で、有償の場合は、上記a)~c)に下記d)~e)を加える。 d) 工事用水は、既存設備に量水器を設けて、仮設配管を施し使用するものとする。 e) 工事用電力は、原則、既存設備に電力計を設けて、仮設分電盤を設置し、使用するものとする。 四国電力送電網などの架空線に防護管の設置が必要な場合は、監督職員と協議する。 ※原形の復旧 ・良土にて設計地盤まで盛土整地する。 範囲(図示) 厚さ() [2.5.1]	4 改質アスファルトシート防水	絶縁工法のルーフィングの材料 [3.3.2] ・部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート 種類及び厚さ ※表3.3.3及び表3.3.4による ・砂付あなきルーフィング 押え金物の材質及び形状 ※図示 ・アルミニウム製、L-30×15×2.0(mm)程度 [3.3.2] 屋内防水 [3.3.3][表3.3.10] 防水層の種類 工法 種別 施工箇所 保護層 ・P1E ・E-2 ・P2E ※E-2 E-1の場合で工程3を行う場合 ※貯水槽、浴槽等の常時水に接する部分 押え金物の材質及び形状 ※アルミニウム製、L-30×15×2.0(mm)程度 [3.3.2] 平場の保護コンクリート ※80mm以上 [3.3.5] こて仕上げの場合 ※60mm以上 床タイル張り等仕上げの場合 ※60mm以上 コンクリートの仕上りの平たんさ ※a種 ・b種 ・c種 [3.3.5][表8.1.5] 防水層の種類 [3.4.2][表3.4.1~表3.4.3] 工法 種別 施工箇所 断熱材 仕上塗料 ・M4AS ・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2 ・M3AS ・POAS ・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-I1 ・AS-I2 ・AS-J3 ・M3ASI ・M4ASI ・POASI ・ASI-T1 ・ASI-J1 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材 2種1号又は2号 厚さ: mm ・図示 ・高日射反射率塗料の適用 ※製造所の指定による 改修用ドレン・設ける ・設けない ・設ける ・設けない 露出防水層表面の仕上げ塗装除去 ・行う ・行わない [3.2.6] 改質アスファルトシートの種類及び厚さ [3.4.2] ※表3.4.1から表3.4.3による 粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ [3.4.2] ※表3.4.1から表3.4.3による 押え金物の材質及び形状 ※図示 ・アルミニウム製、L-30×15×2.0(mm)程度 [3.4.2] 脱気装置の種類及び設置数量 ※製造所の指定とする [3.4.3]
29 完成写真	下巻のものを監督職員に提出する。 位置 分類・規格 撮影枚数 部数 原画の大きさ(mm) ・各室 手札版(L版) ※2枚・枚 ※1部・部 ・100×125以上 ・外部 キャビネ版 ※4枚・枚 ※1部・部 ・24×36以上 ・外部 半切パネル(木製枠※アルミ枠) ※1枚・枚 ※1部・部 ・ スライド ※1部・部 カラー・電子データ化(CD-R等)し、すべて提出する。 撮影箇所は監督職員と協議する。 上巻のほか、監督職員指示の箇所をデジタルカメラにて撮影し、CD-R等にて提出する。 画像形式等 フォーマット: JPEG 画質: 標準 画像サイズ: 1024×768ピクセル程度	7 仮囲い	⑧ 仮設物撤去後の整地・跡片付け [2.5.1]	6 合成高分子系ルーフィングシート防水	防水層の種類 [3.3.2][3.3.5][表3.3.3~表3.3.6] 工法 種別 施工箇所 断熱材の厚さ 絶縁用シート 立上り部の保護 ・P2A ・A-1 ※A-2 ※A-3 ・P1B ・B-1 ※B-2 ・P2AI ・AI-1 ※AI-2 ※AI-3 ・P1BI ・BI-1 ※BI-2 厚さ: mm ・図示 ※フットマークス(70g/㎡程度) ※フットマークス(70g/㎡程度) 改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ [3.3.2] ※表3.3.5及び表3.3.6による 絶縁工法のルーフィングの材料 [3.3.2] ・部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート 種類及び厚さ ※表3.3.3及び表3.3.4による ・砂付あなきルーフィング 押え金物の材質及び形状 ※図示 ・アルミニウム製、L-30×15×2.0(mm)程度 [3.3.2] 乾式保護材 ・窯業系パネル(Ⅰ種 ※Ⅱ種) ・金属複合板 [3.3.5] 製造所 評価名簿による 立上り部への断熱材及び絶縁用シートの設置 [表3.3.4][表3.3.5] ・適用する ・適用しない 平場の保護コンクリート [3.3.5] こて仕上げの場合 ※80mm以上 床タイル張り等仕上げの場合 ※60mm以上 コンクリートの仕上りの平たんさ [3.3.5][表8.1.5] ※a種 ・b種 ・c種 屋上排水溝 [3.3.5]
30 別途設備工事との取合い	施工範囲 ・貫通孔、開口部の補強 ※下表 ・図示 ・壁、天井の仕上材、下地材の切込み及び下地材の補強 ※下表 ・図示 ・駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作スイッチ ・自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 補強種別 内容 貫通孔、開口部の補強 梁 壁 スラブ 壁切込み及び補強 天井切込み及び補強	1 仮囲い	⑧ 仮設物撤去後の整地・跡片付け [2.5.1]	5 合成高分子系ルーフィングシート防水	露出防水層表面の仕上げ塗装除去 ・行う ・行わない [3.2.6] 改質アスファルトシートの種類及び厚さ [3.4.2] ※表3.4.1から表3.4.3による 粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ [3.4.2] ※表3.4.1から表3.4.3による 押え金物の材質及び形状 ※図示 ・アルミニウム製、L-30×15×2.0(mm)程度 [3.4.2] 脱気装置の種類及び設置数量 ※製造所の指定とする [3.4.3]
31 撤去部分	コンクリート、モルタル等の撤去部分の境目は、原則としてダイヤモンドカッター切りとする。	2 養生	⑧ 養生 [2.3.1]	5 合成高分子系ルーフィングシート防水	断熱工法に用いる断熱材(SI-F1, SI-F2, SI-M1, SI-M2の場合) [3.5.2] 工法 種別 材料 厚さ 機械的固定工法 JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 ・図示 接着工法 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 ・図示 S-M2及びSI-M2の立上り面の工法及びシートの厚さ [表3.1.1] 工法: ※図示 ・接着工法(厚さ mm) ・機械的固定工法(厚さ mm) 立上り部等の防水層撤去 ・行う ・行わない 立上り部等の保護層撤去 ・行う ・行わない P O S工法及びP O S I工法(機械的固定工法)の立上り部等の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした場合の既存防水層の処理 ※3.2.6(4)(ウ)による 固定金具の材質及び形状 [3.5.2] 材質 ※防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板またはこれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの 厚さ(mm) ※0.4以上 S-M1及びSI-M2の絶縁用シート及び可塑性移行防止用シートの材質 [3.5.2] ※発泡ポリエチレンシート 脱気装置の種類及び設置数量 ※製造所の仕様による [3.5.3] SI-M1及びSI-M2の防湿用フィルムを設置 ※設けない ・設ける [表3.5.2] プレキャストコンクリート下地の目地処理(接着工法の場合) [3.5.4] ・行う(・図示) ・行わない S-F1及びSI-F1のプレキャストコンクリート下地の入隅部増張り [3.5.4] ・行う(・図示) ・行わない 一般部のルーフィングシートの張付けで機械的固定工法の場合 [3.5.4] 建築基準法に基づく風圧力(※1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法
32 不当要求等への対応	暴力団又は暴力団関係者からの不当要求又は工事妨害(以下この文において「不当介入」という。)の排除については次による。 a) 受注者は、暴力団又は暴力団関係者からの工事の施工に関して不当介入を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届出なければならない。 b) 受注者は、不当介入による被害を受けたときは、その旨を直ちに監督職員に報告し、所轄の警察署に届出なければならない。 c) 受注者は、監督職員及び所轄警察署と協力して、不当介入の排除処理を講じなければならない。 d) 受注者が、不当介入の報告を怠った場合は、「高知市競争入札指名停止措置要綱」に基づき、指名停止措置を行うものとする。	3 アスファルト防水	⑧ 養生 [2.3.1]	5 合成高分子系ルーフィングシート防水	断熱工法に用いる断熱材(SI-F1, SI-F2, SI-M1, SI-M2の場合) [3.5.2] 工法 種別 材料 厚さ 機械的固定工法 JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 ・図示 接着工法 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 ・図示 S-M2及びSI-M2の立上り面の工法及びシートの厚さ [表3.1.1] 工法: ※図示 ・接着工法(厚さ mm) ・機械的固定工法(厚さ mm) 立上り部等の防水層撤去 ・行う ・行わない 立上り部等の保護層撤去 ・行う ・行わない P O S工法及びP O S I工法(機械的固定工法)の立上り部等の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした場合の既存防水層の処理 ※3.2.6(4)(ウ)による 固定金具の材質及び形状 [3.5.2] 材質 ※防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板またはこれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの 厚さ(mm) ※0.4以上 S-M1及びSI-M2の絶縁用シート及び可塑性移行防止用シートの材質 [3.5.2] ※発泡ポリエチレンシート 脱気装置の種類及び設置数量 ※製造所の仕様による [3.5.3] SI-M1及びSI-M2の防湿用フィルムを設置 ※設けない ・設ける [表3.5.2] プレキャストコンクリート下地の目地処理(接着工法の場合) [3.5.4] ・行う(・図示) ・行わない S-F1及びSI-F1のプレキャストコンクリート下地の入隅部増張り [3.5.4] ・行う(・図示) ・行わない 一般部のルーフィングシートの張付けで機械的固定工法の場合 [3.5.4] 建築基準法に基づく風圧力(※1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法
33 消防計画	工事の着手にあたり、火災等の災害の予防や、使用部分と工事中の部分の安全を確保するため、別契約の関連工事業者と協議の上、「工事中の消防計画書」を作成し、当該施設の防火管理者の承諾を得て届出を行う。	4 仮設工事(改修)	⑧ 養生 [2.3.1]	5 合成高分子系ルーフィングシート防水	断熱工法に用いる断熱材(SI-F1, SI-F2, SI-M1, SI-M2の場合) [3.5.2] 工法 種別 材料 厚さ 機械的固定工法 JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 ・図示 接着工法 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 ・図示 S-M2及びSI-M2の立上り面の工法及びシートの厚さ [表3.1.1] 工法: ※図示 ・接着工法(厚さ mm) ・機械的固定工法(厚さ mm) 立上り部等の防水層撤去 ・行う ・行わない 立上り部等の保護層撤去 ・行う ・行わない P O S工法及びP O S I工法(機械的固定工法)の立上り部等の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした場合の既存防水層の処理 ※3.2.6(4)(ウ)による 固定金具の材質及び形状 [3.5.2] 材質 ※防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板またはこれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの 厚さ(mm) ※0.4以上 S-M1及びSI-M2の絶縁用シート及び可塑性移行防止用シートの材質 [3.5.2] ※発泡ポリエチレンシート 脱気装置の種類及び設置数量 ※製造所の仕様による [3.5.3] SI-M1及びSI-M2の防湿用フィルムを設置 ※設けない ・設ける [表3.5.2] プレキャストコンクリート下地の目地処理(接着工法の場合) [3.5.4] ・行う(・図示) ・行わない S-F1及びSI-F1のプレキャストコンクリート下地の入隅部増張り [3.5.4] ・行う(・図示) ・行わない 一般部のルーフィングシートの張付けで機械的固定工法の場合 [3.5.4] 建築基準法に基づく風圧力(※1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法
34 工事特性等	受注者は、自ら立案した工事特性、創意工夫、社会性等のそれぞれの評価項目について、実施しようとする場合は、事前に計画内容を所定の様式で監督職員に提出する。 また、実施後、工事完成時までに所定の様式に実施状況の分かる図面や状況写真等を添付して監督職員に提出する。	5 仮設工事(改修)	⑧ 養生 [2.3.1]	5 合成高分子系ルーフィングシート防水	断熱工法に用いる断熱材(SI-F1, SI-F2, SI-M1, SI-M2の場合) [3.5.2] 工法 種別 材料 厚さ 機械的固定工法 JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 ・図示 接着工法 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 ・図示 S-M2及びSI-M2の立上り面の工法及びシートの厚さ [表3.1.1] 工法: ※図示 ・接着工法(厚さ mm) ・機械的固定工法(厚さ mm) 立上り部等の防水層撤去 ・行う ・行わない 立上り部等の保護層撤去 ・行う ・行わない P O S工法及びP O S I工法(機械的固定工法)の立上り部等の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした場合の既存防水層の処理 ※3.2.6(4)(ウ)による 固定金具の材質及び形状 [3.5.2] 材質 ※防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板またはこれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの 厚さ(mm) ※0.4以上 S-M1及びSI-M2の絶縁用シート及び可塑性移行防止用シートの材質 [3.5.2] ※発泡ポリエチレンシート 脱気装置の種類及び設置数量 ※製造所の仕様による [3.5.3] SI-M1及びSI-M2の防湿用フィルムを設置 ※設けない ・設ける [表3.5.2] プレキャストコンクリート下地の目地処理(接着工法の場合) [3.5.4] ・行う(・図示) ・行わない S-F1及びSI-F1のプレキャストコンクリート下地の入隅部増張り [3.5.4] ・行う(・図示) ・行わない 一般部のルーフィングシートの張付けで機械的固定工法の場合 [3.5.4] 建築基準法に基づく風圧力(※1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法
仮設工事(改修)	内部足場 ⑧きやつ、足場板等 ⑧本足場 [2.1.3][2.2.1][表2.2.1] 外部足場 ※本足場 外部足場の養生 ※図示 ・防護シート ・メッシュシート ・防音シート ・防音パネル 材料、撤去材の運搬方法 ・A種 ⑧B種 ・C種 ⑧D種 ・E種 C種の場合 利用可能なエレベーター(※図示) D種の場合 利用可能な階段(※図示) ・屋上防水作業の端部には、墜落防止手摺等墜落の危険を防止する措置を講ずる。 本足場を設ける場合は、公共建築改修工事標準仕様書2.2.1(2)によるほか、足場の組立、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」により行うこと。 ⑧訓練B種プール改修に伴う足場は、別契約関連工事の足場を利用できる。	6 養生	⑧ 養生 [2.3.1]	5 合成高分子系ルーフィングシート防水	断熱工法に用いる断熱材(SI-F1, SI-F2, SI-M1, SI-M2の場合) [3.5.2] 工法 種別 材料 厚さ 機械的固定工法 JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 ・図示 接着工法 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 ・図示 S-M2及びSI-M2の立上り面の工法及びシートの厚さ [表3.1.1] 工法: ※図示 ・接着工法(厚さ mm) ・機械的固定工法(厚さ mm) 立上り部等の防水層撤去 ・行う ・行わない 立上り部等の保護層撤去 ・行う ・行わない P O S工法及びP O S I工法(機械的固定工法)の立上り部等の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした場合の既存防水層の処理 ※3.2.6(4)(ウ)による 固定金具の材質及び形状 [3.5.2] 材質 ※防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板またはこれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの 厚さ(mm) ※0.4以上 S-M1及びSI-M2の絶縁用シート及び可塑性移行防止用シートの材質 [3.5.2] ※発泡ポリエチレンシート 脱気装置の種類及び設置数量 ※製造所の仕様による [3.5.3] SI-M1及びSI-M2の防湿用フィルムを設置 ※設けない ・設ける [表3.5.2] プレキャストコンクリート下地の目地処理(接着工法の場合) [3.5.4] ・行う(・図示) ・行わない S-F1及びSI-F1のプレキャストコンクリート下地の入隅部増張り [3.5.4] ・行う(・図示) ・行わない 一般部のルーフィングシートの張付けで機械的固定工法の場合 [3.5.4] 建築基準法に基づく風圧力(※1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法
足場その他	内部足場 ⑧きやつ、足場板等 ⑧本足場 [2.1.3][2.2.1][表2.2.1] 外部足場 ※本足場 外部足場の養生 ※図示 ・防護シート ・メッシュシート ・防音シート ・防音パネル 材料、撤去材の運搬方法 ・A種 ⑧B種 ・C種 ⑧D種 ・E種 C種の場合 利用可能なエレベーター(※図示) D種の場合 利用可能な階段(※図示) ・屋上防水作業の端部には、墜落防止手摺等墜落の危険を防止する措置を講ずる。 本足場を設ける場合は、公共建築改修工事標準仕様書2.2.1(2)によるほか、足場の組立、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」により行うこと。 ⑧訓練B種プール改修に伴う足場は、別契約関連工事の足場を利用できる。	7 養生	⑧ 養生 [2.3.1]	5 合成高分子系ルーフィングシート防水	断熱工法に用いる断熱材(SI-F1, SI-F2, SI-M1, SI-M2の場合) [3.5.2] 工法 種別 材料 厚さ 機械的固定工法 JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 ・図示 接着工法 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 ・図示 S-M2及びSI-M2の立上り面の工法及びシートの厚さ [表3.1.1] 工法: ※図示 ・接着工法(厚さ mm) ・機械的固定工法(厚さ mm) 立上り部等の防水層撤去 ・行う ・行わない 立上り部等の保護層撤去 ・行う ・行わない P O S工法及びP O S I工法(機械的固定工法)の立上り部等の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした場合の既存防水層の処理 ※3.2.6(4)(ウ)による 固定金具の材質及び形状 [3.5.2] 材質 ※防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板またはこれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの 厚さ(mm) ※0.4以上 S-M1及びSI-M2の絶縁用シート及び可塑性移行防止用シートの材質 [3.5.2] ※発泡ポリエチレンシート 脱気装置の種類及び設置数量 ※製造所の仕様による [3.5.3] SI-M1及びSI-M2の防湿用フィルムを設置 ※設けない ・設ける [表3.5.2] プレキャストコンクリート下地の目地処理(接着工法の場合) [3.5.4] ・行う(・図示) ・行わない S-F1及びSI-F1のプレキャストコンクリート下地の入隅部増張り [3.5.4] ・行う(・図示) ・行わない 一般部のルーフィングシートの張付けで機械的固定工法の場合 [3.5.4] 建築基準法に基づく風圧力(※1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法
養生	⑧ 養生 [2.3.1] ・既存部分の養生 ※ビニルシート、合板等 ・既存家具、既存設備等の養生 ※ビニルシート等 ・既存ブラインド、カーテン等の養生、保管場所 ※図示 ・固定された備品等の移動 ※図示 ・開口部養生 窓等の破損の危険がある工事を行う場合は、施工を行う周辺及びその下部の窓等には、室内に破損物等が飛散しない様、堅固な養生を行う。	8 養生	⑧ 養生 [2.3.1]	5 合成高分子系ルーフィングシート防水	断熱工法に用いる断熱材(SI-F1, SI-F2, SI-M1, SI-M2の場合) [3.5.2] 工法 種別 材料 厚さ 機械的固定工法 JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 ・図示 接着工法 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 ・図示 S-M2及びSI-M2の立上り面の工法及びシートの厚さ [表3.1.1] 工法: ※図示 ・接着工法(厚さ mm) ・機械的固定工法(厚さ mm) 立上り部等の防水層撤去 ・行う ・行わない 立上り部等の保護層撤去 ・行う ・行わない P O S工法及びP O S I工法(機械的固定工法)の立上り部等の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした場合の既存防水層の処理 ※3.2.6(4)(ウ)による 固定金具の材質及び形状 [3.5.2] 材質 ※防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板またはこれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの 厚さ(mm) ※0.4以上 S-M1及びSI-M2の絶縁用シート及び可塑性移行防止用シートの材質 [3.5.2] ※発泡ポリエチレンシート 脱気装置の種類及び設置数量 ※製造所の仕様による [3.5.3] SI-M1及びSI-M2の防湿用フィルムを設置 ※設けない ・設ける [表3.5.2] プレキャストコンクリート下地の目地処理(接着工法の場合) [3.5.4] ・行う(・図示) ・行わない S-F1及びSI-F1のプレキャストコンクリート下地の入隅部増張り [3.5.4] ・行う(・図示) ・行わない 一般部のルーフィングシートの張付けで機械的固定工法の場合 [3.5.4] 建築基準法に基づく風圧力(※1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法
仮設間仕切り(屋内)	設置箇所 ※図示 [2.3.2][表2.3.1] 間仕切り種別 ・A種 ・B種 ※C種 A種、B種の場合 仕上げの材種 ※せつこうボード 厚さ9.5mm ・合板(普通合板)厚さ9.0mm 塗装仕上げ等 ・行う ※行わない 仮設扉設置箇所 ※図示 仮設扉種別 ・合板張り木製扉程度 ・図示	9 養生	⑧ 養生 [2.3.1]	5 合成高分子系ルーフィングシート防水	断熱工法に用いる断熱材(SI-F1, SI-F2, SI-M1, SI-M2の場合) [3.5.2] 工法 種別 材料 厚さ 機械的固定工法 JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 ・図示 接着工法 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 ・図示 S-M2及びSI-M2の立上り面の工法及びシートの厚さ [表3.1.1] 工法: ※図示 ・接着工法(厚さ mm) ・機械的固定工法(厚さ mm) 立上り部等の防水層撤去 ・行う ・行わない 立上り部等の保護層撤去 ・行う ・行わない P O S工法及びP O S I工法(機械的固定工法)の立上り部等の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした場合の既存防水層の処理 ※3.2.6(4)(ウ)による 固定金具の材質及び形状 [3.5.2] 材質 ※防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板またはこれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの 厚さ(mm) ※0.4以上 S-M1及びSI-M2の絶縁用シート及び可塑性移行防止用シートの材質 [3.5.2] ※発泡ポリエチレンシート 脱気装置の種類及び設置数量 ※製造所の仕様による [3.5.3] SI-M1及びSI-M2の防湿用フィルムを設置 ※設けない ・設ける [表3.5.2] プレキャストコンクリート下地の目地処理(接着工法の場合) [3.5.4] ・行う(・図示) ・行わない S-F1及びSI-F1のプレキャストコンクリート下地の入隅部増張り [3.5.4] ・行う(・図示) ・行わない 一般部のルーフィングシートの張付けで機械的固定工法の場合 [3.5.4] 建築基準法に基づく風圧力(※1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法
監督職員事務所	・設ける (m程度) ※設けない	10 養生	⑧ 養生 [2.3.1]	5 合成高分子系ルーフィングシート防水	断熱工法に用いる断熱材(SI-F1, SI-F2, SI-M1, SI-M2の場合) [3.5.2] 工法 種別 材料 厚さ 機械的固定工法 JIS A 9521(建築用断熱材)に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 ・図示 接着工法 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類: ※硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 ・図示 S-M2及びSI-M2の立上り面の工法及びシートの厚さ [表3.1.1] 工法: ※図示 ・接着工法(厚さ mm) ・機械的固定工法(厚さ mm) 立上り部等の防水層撤去 ・行う ・行わない 立上り部等の保護層撤去 ・行う ・行わない P O S工法及びP O S I工法(機械的固定工法)の立上り部等の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした場合の既存防水層の処理 ※3.2.6(4)(ウ)による 固定金具の材質及び形状 [3.5.2] 材質 ※防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板またはこれらの鋼板の片面及び両面に樹脂を積層加工したもの 厚さ(mm) ※0.4以上 S-M1及びSI-M2の絶縁用シート及び可塑性移行防止用シートの材質 [3.5.2] ※発泡ポリエチレンシート 脱気装置の種類及び設置数量 ※製造所の仕様による [3.5.3] SI-M1及びSI-M2の防湿用フィルムを設置 ※設けない ・設ける [表3.5.2] プレキャストコンクリート下地の目地処理(接着工法の場合) [3.5.4] ・行う(・図示) ・行わない S-F1及びSI-F1のプレキャストコンクリート下地の入隅部増張り [3.5.4] ・行う(・図示) ・行わない 一般部のルーフィングシートの張付けで機械的固定工法の場合 [3.5.4] 建築基準法に基づく風圧力(※1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																																																																																																																																																																				
⑥ 塗膜防水	防水層の種類 [3.6.3][表3.6.1~表3.6.3] <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>使用量</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・POX ・L4X</td> <td>・X-1 ・X-1H ・X-2 ・X-2H</td> <td>図示</td> <td>※2成分形7カド カド樹脂系 ・ふっ素樹脂系 ・アクリル樹脂系</td> <td>※製造 所の仕 様によ る</td> <td>改修用ドレ ン・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・PIY ・P2Y</td> <td>※Y-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>保護層 ・設ける ・設けない</td> </tr> </table> 絶縁工における脱気装置の種類及び設置数量 ※主材料の製造所の仕様による [3.6.3] ウレタン防水材 ※化学物質MOCAを含有しないもの	工法	種別	施工箇所	種類	使用量	備考	・POX ・L4X	・X-1 ・X-1H ・X-2 ・X-2H	図示	※2成分形7カド カド樹脂系 ・ふっ素樹脂系 ・アクリル樹脂系	※製造 所の仕 様によ る	改修用ドレ ン・設ける ・設けない	・PIY ・P2Y	※Y-2				保護層 ・設ける ・設けない	④ 軽量鉄骨壁下地	・つりボルトの間隔が900mmを超える場合の補強 (14.4.4) 適用箇所: ※図示 補強方法: ※図示 ・天井下地材における耐震性を考慮した補強 (14.4.4) 適用箇所: ※すべて 図示 補強方法: 国土交通省平成25年告示第771号の基準に適合するもの ※14.4.4(8)による。ただし、ふところ1.5m以下の場合も適用し、 固定方法は専用金具又はボルトとし、溶接は不可とする。	8 造作用単板積層材	・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※図示</td> <td></td> <td>※15%以下</td> </tr> </table> ・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※図示</td> <td></td> <td></td> <td>※15%以下</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>芯材:</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>化粧薄板:</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>芯材:</td> <td></td> </tr> </table> ・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 [6.5.2] <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表面の化粧加工</th> <th>防虫処理</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・有(天然木化粧加工・塗装加工) ・無(等級: 1等・2等・3等)</td> <td>・行う ・行わない</td> <td>※15%以下</td> </tr> </table> ・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表面の化粧加工</th> <th>防虫処理</th> <th>含水率</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・有(天然木化粧加工・塗装加工) ・無(等級: 1等・2等・3等)</td> <td>・行う ・行わない</td> <td>※14%以下</td> </tr> </table> ・CLT(直交集成板) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>曲げ強度(強度等級)</th> <th>種別</th> <th>接着性能(使用環境)</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※図示</td> </tr> </table> ⑩ 合板等 合板 [6.5.2] ・普通合板 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>難燃処理</th> <th>防火処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1類 ・特類</td> <td>※2等以上 ・特類</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ・構造用合板 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>等級</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>強度等級</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※12.0</td> <td></td> <td>※1類 ・特類</td> <td>※C-D以上</td> <td></td> <td>※指定しない</td> </tr> </table> ・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1類 ・2類 ・特類</td> <td></td> </tr> </table> ・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>化粧板に使用する単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1類 ・2類</td> <td></td> </tr> </table> ・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>単板の樹種名</th> <th>化粧加工の方法</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1類 ・2類</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ・パーティクルボード <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表裏面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>耐火性による区分</th> <th>難燃性による区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※15.0</td> <td>・素地(・研磨板・無研磨板) ・単板張り (・研磨板・無研磨板)</td> <td>※13タイプ</td> <td>※P又はMタイプ</td> <td></td> </tr> </table> ・構造用パネル <table border="1"> <tr> <th>施工場所</th> <th>品名</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>等級</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・1級 ・2級 ・3級 ・4級</td> </tr> </table> ・ミディアムデンシティファイバーボード(MDF) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表裏の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>接着剤による区分</th> <th>難燃性による区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 11 接合具等 造作材の化粧面の釘打ち ・適用する(※隠し釘打ち) ・適用しない [6.5.3] 諸金物の形状、寸法及び材質 [6.5.3][表6.5.3~6.5.5] ・6.5.3(2)(7)による 接着剤 ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ [6.5.3]	施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率			※図示		※15%以下	施工箇所	樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率			※図示			※15%以下					芯材:						化粧薄板:						芯材:		施工箇所	品名	厚さ(mm)	表面の化粧加工	防虫処理	含水率				・有(天然木化粧加工・塗装加工) ・無(等級: 1等・2等・3等)	・行う ・行わない	※15%以下	施工箇所	厚さ(mm)	表面の化粧加工	防虫処理	含水率			・有(天然木化粧加工・塗装加工) ・無(等級: 1等・2等・3等)	・行う ・行わない	※14%以下	施工箇所	品名	曲げ強度(強度等級)	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)							※図示	施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	防火処理					※1類 ・特類	※2等以上 ・特類				施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	等級	板面の品質	防虫処理	強度等級			※12.0		※1類 ・特類	※C-D以上		※指定しない	施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理					※1類 ・2類 ・特類		施工箇所	厚さ(mm)	化粧板に使用する単板の樹種名	接着の程度	防虫処理				※1類 ・2類		施工箇所	品名	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理				※1類 ・2類				施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐火性による区分	難燃性による区分		※15.0	・素地(・研磨板・無研磨板) ・単板張り (・研磨板・無研磨板)	※13タイプ	※P又はMタイプ		施工場所	品名	厚さ(mm)	等級				・1級 ・2級 ・3級 ・4級	施工箇所	厚さ(mm)	表裏の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分						
工法	種別	施工箇所	種類	使用量	備考																																																																																																																																																																																																				
・POX ・L4X	・X-1 ・X-1H ・X-2 ・X-2H	図示	※2成分形7カド カド樹脂系 ・ふっ素樹脂系 ・アクリル樹脂系	※製造 所の仕 様によ る	改修用ドレ ン・設ける ・設けない																																																																																																																																																																																																				
・PIY ・P2Y	※Y-2				保護層 ・設ける ・設けない																																																																																																																																																																																																				
施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率																																																																																																																																																																																																					
		※図示		※15%以下																																																																																																																																																																																																					
施工箇所	樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率																																																																																																																																																																																																				
		※図示			※15%以下																																																																																																																																																																																																				
				芯材:																																																																																																																																																																																																					
				化粧薄板:																																																																																																																																																																																																					
				芯材:																																																																																																																																																																																																					
施工箇所	品名	厚さ(mm)	表面の化粧加工	防虫処理	含水率																																																																																																																																																																																																				
			・有(天然木化粧加工・塗装加工) ・無(等級: 1等・2等・3等)	・行う ・行わない	※15%以下																																																																																																																																																																																																				
施工箇所	厚さ(mm)	表面の化粧加工	防虫処理	含水率																																																																																																																																																																																																					
		・有(天然木化粧加工・塗装加工) ・無(等級: 1等・2等・3等)	・行う ・行わない	※14%以下																																																																																																																																																																																																					
施工箇所	品名	曲げ強度(強度等級)	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)																																																																																																																																																																																																			
						※図示																																																																																																																																																																																																			
施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	防火処理																																																																																																																																																																																																	
				※1類 ・特類	※2等以上 ・特類																																																																																																																																																																																																				
施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	等級	板面の品質	防虫処理	強度等級																																																																																																																																																																																																		
		※12.0		※1類 ・特類	※C-D以上		※指定しない																																																																																																																																																																																																		
施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理																																																																																																																																																																																																				
				※1類 ・2類 ・特類																																																																																																																																																																																																					
施工箇所	厚さ(mm)	化粧板に使用する単板の樹種名	接着の程度	防虫処理																																																																																																																																																																																																					
			※1類 ・2類																																																																																																																																																																																																						
施工箇所	品名	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理																																																																																																																																																																																																			
			※1類 ・2類																																																																																																																																																																																																						
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐火性による区分	難燃性による区分																																																																																																																																																																																																				
	※15.0	・素地(・研磨板・無研磨板) ・単板張り (・研磨板・無研磨板)	※13タイプ	※P又はMタイプ																																																																																																																																																																																																					
施工場所	品名	厚さ(mm)	等級																																																																																																																																																																																																						
			・1級 ・2級 ・3級 ・4級																																																																																																																																																																																																						
施工箇所	厚さ(mm)	表裏の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分																																																																																																																																																																																																				
7 FRP防水	ガラスマット ・1層タイプ ・2層タイプ 表面の仕上げ ・平滑 ・粗面 押え金物の材質 ※アルミニウム 押え金物の寸法 ※図示	⑤ 金属成形板張り(天井)	4 軽量鉄骨壁下地 スタッド、ランナー等の種類 ※表14.5.1による 図示 (14.5.3)(表14.5.1) スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 ※14.5.4(5)による 図示 (14.5.4)	9 直交集成板	⑩ 合板等 合板 [6.5.2] ・普通合板 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>難燃処理</th> <th>防火処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1類 ・特類</td> <td>※2等以上 ・特類</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ・構造用合板 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>等級</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>強度等級</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※12.0</td> <td></td> <td>※1類 ・特類</td> <td>※C-D以上</td> <td></td> <td>※指定しない</td> </tr> </table> ・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1類 ・2類 ・特類</td> <td></td> </tr> </table> ・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>化粧板に使用する単板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1類 ・2類</td> <td></td> </tr> </table> ・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>単板の樹種名</th> <th>化粧加工の方法</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1類 ・2類</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ・パーティクルボード <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表裏面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>耐火性による区分</th> <th>難燃性による区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※15.0</td> <td>・素地(・研磨板・無研磨板) ・単板張り (・研磨板・無研磨板)</td> <td>※13タイプ</td> <td>※P又はMタイプ</td> <td></td> </tr> </table> ・構造用パネル <table border="1"> <tr> <th>施工場所</th> <th>品名</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>等級</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・1級 ・2級 ・3級 ・4級</td> </tr> </table> ・ミディアムデンシティファイバーボード(MDF) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>表裏の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>接着剤による区分</th> <th>難燃性による区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 12 木れんが 取付工法 ※接着工法 ・あと施工アンカー(径:) 長さ:) [6.5.4] 接着剤 ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ [6.5.4]	施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	防火処理					※1類 ・特類	※2等以上 ・特類				施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	等級	板面の品質	防虫処理	強度等級			※12.0		※1類 ・特類	※C-D以上		※指定しない	施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理					※1類 ・2類 ・特類		施工箇所	厚さ(mm)	化粧板に使用する単板の樹種名	接着の程度	防虫処理				※1類 ・2類		施工箇所	品名	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理				※1類 ・2類				施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐火性による区分	難燃性による区分		※15.0	・素地(・研磨板・無研磨板) ・単板張り (・研磨板・無研磨板)	※13タイプ	※P又はMタイプ		施工場所	品名	厚さ(mm)	等級				・1級 ・2級 ・3級 ・4級	施工箇所	厚さ(mm)	表裏の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分																																																																																																				
施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	防火処理																																																																																																																																																																																																	
				※1類 ・特類	※2等以上 ・特類																																																																																																																																																																																																				
施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	等級	板面の品質	防虫処理	強度等級																																																																																																																																																																																																		
		※12.0		※1類 ・特類	※C-D以上		※指定しない																																																																																																																																																																																																		
施工箇所	品名	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理																																																																																																																																																																																																				
				※1類 ・2類 ・特類																																																																																																																																																																																																					
施工箇所	厚さ(mm)	化粧板に使用する単板の樹種名	接着の程度	防虫処理																																																																																																																																																																																																					
			※1類 ・2類																																																																																																																																																																																																						
施工箇所	品名	厚さ(mm)	接着の程度	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理																																																																																																																																																																																																			
			※1類 ・2類																																																																																																																																																																																																						
施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐火性による区分	難燃性による区分																																																																																																																																																																																																				
	※15.0	・素地(・研磨板・無研磨板) ・単板張り (・研磨板・無研磨板)	※13タイプ	※P又はMタイプ																																																																																																																																																																																																					
施工場所	品名	厚さ(mm)	等級																																																																																																																																																																																																						
			・1級 ・2級 ・3級 ・4級																																																																																																																																																																																																						
施工箇所	厚さ(mm)	表裏の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分																																																																																																																																																																																																				
⑤ シーリング	シーリング改修工法の種類 [3.1.4][3.7.4~3.7.7][表3.1.2] ・シーリング充填工法 ・ブリッジ工法 ・ボンドブレイカー張り ・エッジング材張り ・シーリング再充填工法 ・拡張シーリング再充填工法	6 アルミニウム製笠木	⑤ 内装改修工事 1 他の部位との取合い等 [6.1.3] 撤去壁と取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※図示 ・壁厚程度 天井内の撤去壁と取合う天井の改修範囲 ※図示 ・壁面から両側600程度 撤去天井と取合う壁の改修範囲 ※図示 ・既存のまま 各部仕上げは、既存仕上げに準じたものとする 2 既存床の撤去及び下地補修 [6.2.2] ・ビニル床シート等の除去等 ※仕上げ材のみ(接着剤等共) ・下地モルタル共(撤去範囲: ※図示 ・撤去範囲すべて) ・合成樹脂塗床材の除去等 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 改修後の床の清掃範囲 ※改修部分の端部から1.0m程度の範囲(工事で汚した範囲共) 3 既存壁の撤去及び下地補修 [6.3.2] 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※図示 ・モルタル塗り([4.3.10]による) 4 ホルムアルデヒド放散量 [6.5.2] ※6.5.2(9)のいずれかによる。 5 目視検査 [6.5.2] 日本農林規格以外の製材及び集成材について、目視による材の欠点がないことの確認は、 樹種ごとに無作為に抽出し、その抽出割合は10%以上とする。 6 製材 [6.5.2] ・下地用針葉樹製材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> </tr> <tr> <td>※図示</td> <td>・杉 ・松</td> <td>※図示</td> </tr> </table> 等級 日本農林規格を使用する場合: ・1級 ※2級 日本農林規格以外を使用する場合: ※特1等 ・1等 含水率 ※15%以下 保存処理 ・行う ・行わない 防虫処理 ・行う ・行わない 難燃処理 ・行う ・行わない ・造作用針葉樹製材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> </tr> <tr> <td>※図示</td> <td>・杉 ・松</td> <td>※図示</td> </tr> </table> 等級 日本農林規格を使用する場合 見え掛り面: ※上小節 ・無節 日本農林規格以外を使用する場合 見え掛り面以外: ※小節以上 見え掛り面: ※上小節 ・無節 ・特1等 見え掛り面以外: ※小節以上 ・特1等 含水率 ※15%以下 保存処理 ・ 防虫処理 ・行う ・行わない 難燃処理 ・行う ・行わない ・広葉樹製材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> </tr> <tr> <td>※図示</td> <td></td> <td>※図示</td> </tr> </table> 等級 日本農林規格を使用する場合: ・特等 ※1等 ・2等 日本農林規格以外を使用する場合: ※特1等 ・1等 含水率 ※10%以下 保存処理 ・ 防虫処理 ・行う ・行わない 難燃処理 ・行う ・行わない ホルムアルデヒド放散量等 ※6.5.2(9)による ・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面数</th> <th>見付け材面の品質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※図示</td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> </tr> </table> ・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面数</th> <th>見付け材面の品質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※図示</td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>化粧薄板: 芯材:</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>化粧薄板: 芯材:</td> </tr> </table> 野縁等の種類 (14.4.2)(表14.4.1) 屋内(※19形 ・25形) 屋外(・19形 ※25形) 屋外の軒天井、ピロティ天井等 野縁等の間隔 (14.4.3) <table border="1"> <tr> <th>野縁</th> <th>野縁受</th> <th>つりボルト及びビーンサート</th> <th>周辺部の端からの距離</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ・耐風圧性を考慮した補強 適用箇所: ※図示 補強方法: ※図示 (14.4.4)	施工箇所	樹種	寸法(mm)	※図示	・杉 ・松	※図示	施工箇所	樹種	寸法(mm)	※図示	・杉 ・松	※図示	施工箇所	樹種	寸法(mm)	※図示		※図示	施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質				※図示		※1等 ・2等	施工箇所	品名	樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質					※図示		※1等 ・2等							化粧薄板: 芯材:							化粧薄板: 芯材:	野縁	野縁受	つりボルト及びビーンサート	周辺部の端からの距離																																																																																																																																								
施工箇所	樹種	寸法(mm)																																																																																																																																																																																																							
※図示	・杉 ・松	※図示																																																																																																																																																																																																							
施工箇所	樹種	寸法(mm)																																																																																																																																																																																																							
※図示	・杉 ・松	※図示																																																																																																																																																																																																							
施工箇所	樹種	寸法(mm)																																																																																																																																																																																																							
※図示		※図示																																																																																																																																																																																																							
施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質																																																																																																																																																																																																				
			※図示		※1等 ・2等																																																																																																																																																																																																				
施工箇所	品名	樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質																																																																																																																																																																																																			
				※図示		※1等 ・2等																																																																																																																																																																																																			
						化粧薄板: 芯材:																																																																																																																																																																																																			
						化粧薄板: 芯材:																																																																																																																																																																																																			
野縁	野縁受	つりボルト及びビーンサート	周辺部の端からの距離																																																																																																																																																																																																						
③ シーリング	シーリング改修工法の種類 [3.1.4][3.7.4~3.7.7][表3.1.2] ・シーリング充填工法 ・ブリッジ工法 ・ボンドブレイカー張り ・エッジング材張り ・シーリング再充填工法 ・拡張シーリング再充填工法	9 保証書(シーリング除く)	⑤ 内装改修工事 1 他の部位との取合い等 [6.1.3] 撤去壁と取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※図示 ・壁厚程度 天井内の撤去壁と取合う天井の改修範囲 ※図示 ・壁面から両側600程度 撤去天井と取合う壁の改修範囲 ※図示 ・既存のまま 各部仕上げは、既存仕上げに準じたものとする 2 既存床の撤去及び下地補修 [6.2.2] ・ビニル床シート等の除去等 ※仕上げ材のみ(接着剤等共) ・下地モルタル共(撤去範囲: ※図示 ・撤去範囲すべて) ・合成樹脂塗床材の除去等 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 改修後の床の清掃範囲 ※改修部分の端部から1.0m程度の範囲(工事で汚した範囲共) 3 既存壁の撤去及び下地補修 [6.3.2] 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※図示 ・モルタル塗り([4.3.10]による) 4 ホルムアルデヒド放散量 [6.5.2] ※6.5.2(9)のいずれかによる。 5 目視検査 [6.5.2] 日本農林規格以外の製材及び集成材について、目視による材の欠点がないことの確認は、 樹種ごとに無作為に抽出し、その抽出割合は10%以上とする。 6 製材 [6.5.2] ・下地用針葉樹製材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> </tr> <tr> <td>※図示</td> <td>・杉 ・松</td> <td>※図示</td> </tr> </table> 等級 日本農林規格を使用する場合: ・1級 ※2級 日本農林規格以外を使用する場合: ※特1等 ・1等 含水率 ※15%以下 保存処理 ・行う ・行わない 防虫処理 ・行う ・行わない 難燃処理 ・行う ・行わない ・造作用針葉樹製材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> </tr> <tr> <td>※図示</td> <td>・杉 ・松</td> <td>※図示</td> </tr> </table> 等級 日本農林規格を使用する場合 見え掛り面: ※上小節 ・無節 日本農林規格以外を使用する場合 見え掛り面以外: ※小節以上 見え掛り面: ※上小節 ・無節 ・特1等 見え掛り面以外: ※小節以上 ・特1等 含水率 ※15%以下 保存処理 ・ 防虫処理 ・行う ・行わない 難燃処理 ・行う ・行わない ・広葉樹製材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> </tr> <tr> <td>※図示</td> <td></td> <td>※図示</td> </tr> </table> 等級 日本農林規格を使用する場合: ・特等 ※1等 ・2等 日本農林規格以外を使用する場合: ※特1等 ・1等 含水率 ※10%以下 保存処理 ・ 防虫処理 ・行う ・行わない 難燃処理 ・行う ・行わない ホルムアルデヒド放散量等 ※6.5.2(9)による ・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面数</th> <th>見付け材面の品質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※図示</td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> </tr> </table> ・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面数</th> <th>見付け材面の品質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※図示</td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>化粧薄板: 芯材:</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>化粧薄板: 芯材:</td> </tr> </table> 野縁等の種類 (14.4.2)(表14.4.1) 屋内(※19形 ・25形) 屋外(・19形 ※25形) 屋外の軒天井、ピロティ天井等 野縁等の間隔 (14.4.3) <table border="1"> <tr> <th>野縁</th> <th>野縁受</th> <th>つりボルト及びビーンサート</th> <th>周辺部の端からの距離</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ・耐風圧性を考慮した補強 適用箇所: ※図示 補強方法: ※図示 (14.4.4)	施工箇所	樹種	寸法(mm)	※図示	・杉 ・松	※図示	施工箇所	樹種	寸法(mm)	※図示	・杉 ・松	※図示	施工箇所	樹種	寸法(mm)	※図示		※図示	施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質				※図示		※1等 ・2等	施工箇所	品名	樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質					※図示		※1等 ・2等							化粧薄板: 芯材:							化粧薄板: 芯材:	野縁	野縁受	つりボルト及びビーンサート	周辺部の端からの距離																																																																																																																																								
施工箇所	樹種	寸法(mm)																																																																																																																																																																																																							
※図示	・杉 ・松	※図示																																																																																																																																																																																																							
施工箇所	樹種	寸法(mm)																																																																																																																																																																																																							
※図示	・杉 ・松	※図示																																																																																																																																																																																																							
施工箇所	樹種	寸法(mm)																																																																																																																																																																																																							
※図示		※図示																																																																																																																																																																																																							
施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質																																																																																																																																																																																																				
			※図示		※1等 ・2等																																																																																																																																																																																																				
施工箇所	品名	樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質																																																																																																																																																																																																			
				※図示		※1等 ・2等																																																																																																																																																																																																			
						化粧薄板: 芯材:																																																																																																																																																																																																			
						化粧薄板: 芯材:																																																																																																																																																																																																			
野縁	野縁受	つりボルト及びビーンサート	周辺部の端からの距離																																																																																																																																																																																																						
③ シーリング	シーリング改修工法の種類 [3.1.4][3.7.4~3.7.7][表3.1.2] ・シーリング充填工法 ・ブリッジ工法 ・ボンドブレイカー張り ・エッジング材張り ・シーリング再充填工法 ・拡張シーリング再充填工法	12 高日射反射率塗料塗り	⑤ 内装改修工事 1 他の部位との取合い等 [6.1.3] 撤去壁と取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※図示 ・壁厚程度 天井内の撤去壁と取合う天井の改修範囲 ※図示 ・壁面から両側600程度 撤去天井と取合う壁の改修範囲 ※図示 ・既存のまま 各部仕上げは、既存仕上げに準じたものとする 2 既存床の撤去及び下地補修 [6.2.2] ・ビニル床シート等の除去等 ※仕上げ材のみ(接着剤等共) ・下地モルタル共(撤去範囲: ※図示 ・撤去範囲すべて) ・合成樹脂塗床材の除去等 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 改修後の床の清掃範囲 ※改修部分の端部から1.0m程度の範囲(工事で汚した範囲共) 3 既存壁の撤去及び下地補修 [6.3.2] 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※図示 ・モルタル塗り([4.3.10]による) 4 ホルムアルデヒド放散量 [6.5.2] ※6.5.2(9)のいずれかによる。 5 目視検査 [6.5.2] 日本農林規格以外の製材及び集成材について、目視による材の欠点がないことの確認は、 樹種ごとに無作為に抽出し、その抽出割合は10%以上とする。 6 製材 [6.5.2] ・下地用針葉樹製材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> </tr> <tr> <td>※図示</td> <td>・杉 ・松</td> <td>※図示</td> </tr> </table> 等級 日本農林規格を使用する場合: ・1級 ※2級 日本農林規格以外を使用する場合: ※特1等 ・1等 含水率 ※15%以下 保存処理 ・行う ・行わない 防虫処理 ・行う ・行わない 難燃処理 ・行う ・行わない ・造作用針葉樹製材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> </tr> <tr> <td>※図示</td> <td>・杉 ・松</td> <td>※図示</td> </tr> </table> 等級 日本農林規格を使用する場合 見え掛り面: ※上小節 ・無節 日本農林規格以外を使用する場合 見え掛り面以外: ※小節以上 見え掛り面: ※上小節 ・無節 ・特1等 見え掛り面以外: ※小節以上 ・特1等 含水率 ※15%以下 保存処理 ・ 防虫処理 ・行う ・行わない 難燃処理 ・行う ・行わない ・広葉樹製材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> </tr> <tr> <td>※図示</td> <td></td> <td>※図示</td> </tr> </table> 等級 日本農林規格を使用する場合: ・特等 ※1等 ・2等 日本農林規格以外を使用する場合: ※特1等 ・1等 含水率 ※10%以下 保存処理 ・ 防虫処理 ・行う ・行わない 難燃処理 ・行う ・行わない ホルムアルデヒド放散量等 ※6.5.2(9)による ・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面数</th> <th>見付け材面の品質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※図示</td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> </tr> </table> ・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面数</th> <th>見付け材面の品質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※図示</td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>化粧薄板: 芯材:</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>化粧薄板: 芯材:</td> </tr> </table> 野縁等の種類 (14.4.2)(表14.4.1) 屋内(※19形 ・25形) 屋外(・19形 ※25形) 屋外の軒天井、ピロティ天井等 野縁等の間隔 (14.4.3) <table border="1"> <tr> <th>野縁</th> <th>野縁受</th> <th>つりボルト及びビーンサート</th> <th>周辺部の端からの距離</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ・耐風圧性を考慮した補強 適用箇所: ※図示 補強方法: ※図示 (14.4.4)	施工箇所	樹種	寸法(mm)	※図示	・杉 ・松	※図示	施工箇所	樹種	寸法(mm)	※図示	・杉 ・松	※図示	施工箇所	樹種	寸法(mm)	※図示		※図示	施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質				※図示		※1等 ・2等	施工箇所	品名	樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質					※図示		※1等 ・2等							化粧薄板: 芯材:							化粧薄板: 芯材:	野縁	野縁受	つりボルト及びビーンサート	周辺部の端からの距離																																																																																																																																								
施工箇所	樹種	寸法(mm)																																																																																																																																																																																																							
※図示	・杉 ・松	※図示																																																																																																																																																																																																							
施工箇所	樹種	寸法(mm)																																																																																																																																																																																																							
※図示	・杉 ・松	※図示																																																																																																																																																																																																							
施工箇所	樹種	寸法(mm)																																																																																																																																																																																																							
※図示		※図示																																																																																																																																																																																																							
施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質																																																																																																																																																																																																				
			※図示		※1等 ・2等																																																																																																																																																																																																				
施工箇所	品名	樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質																																																																																																																																																																																																			
				※図示		※1等 ・2等																																																																																																																																																																																																			
						化粧薄板: 芯材:																																																																																																																																																																																																			
						化粧薄板: 芯材:																																																																																																																																																																																																			
野縁	野縁受	つりボルト及びビーンサート	周辺部の端からの距離																																																																																																																																																																																																						
③ シーリング	シーリング改修工法の種類 [3.1.4][3.7.4~3.7.7][表3.1.2] ・シーリング充填工法 ・ブリッジ工法 ・ボンドブレイカー張り ・エッジング材張り ・シーリング再充填工法 ・拡張シーリング再充填工法	12 高日射反射率塗料塗り	⑤ 内装改修工事 1 他の部位との取合い等 [6.1.3] 撤去壁と取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※図示 ・壁厚程度 天井内の撤去壁と取合う天井の改修範囲 ※図示 ・壁面から両側600程度 撤去天井と取合う壁の改修範囲 ※図示 ・既存のまま 各部仕上げは、既存仕上げに準じたものとする 2 既存床の撤去及び下地補修 [6.2.2] ・ビニル床シート等の除去等 ※仕上げ材のみ(接着剤等共) ・下地モルタル共(撤去範囲: ※図示 ・撤去範囲すべて) ・合成樹脂塗床材の除去等 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 改修後の床の清掃範囲 ※改修部分の端部から1.0m程度の範囲(工事で汚した範囲共) 3 既存壁の撤去及び下地補修 [6.3.2] 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※図示 ・モルタル塗り([4.3.10]による) 4 ホルムアルデヒド放散量 [6.5.2] ※6.5.2(9)のいずれかによる。 5 目視検査 [6.5.2] 日本農林規格以外の製材及び集成材について、目視による材の欠点がないことの確認は、 樹種ごとに無作為に抽出し、その抽出割合は10%以上とする。 6 製材 [6.5.2] ・下地用針葉樹製材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> </tr> <tr> <td>※図示</td> <td>・杉 ・松</td> <td>※図示</td> </tr> </table> 等級 日本農林規格を使用する場合: ・1級 ※2級 日本農林規格以外を使用する場合: ※特1等 ・1等 含水率 ※15%以下 保存処理 ・行う ・行わない 防虫処理 ・行う ・行わない 難燃処理 ・行う ・行わない ・造作用針葉樹製材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> </tr> <tr> <td>※図示</td> <td>・杉 ・松</td> <td>※図示</td> </tr> </table> 等級 日本農林規格を使用する場合 見え掛り面: ※上小節 ・無節 日本農林規格以外を使用する場合 見え掛り面以外: ※小節以上 見え掛り面: ※上小節 ・無節 ・特1等 見え掛り面以外: ※小節以上 ・特1等 含水率 ※15%以下 保存処理 ・ 防虫処理 ・行う ・行わない 難燃処理 ・行う ・行わない ・広葉樹製材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> </tr> <tr> <td>※図示</td> <td></td> <td>※図示</td> </tr> </table> 等級 日本農林規格を使用する場合: ・特等 ※1等 ・2等 日本農林規格以外を使用する場合: ※特1等 ・1等 含水率 ※10%以下 保存処理 ・ 防虫処理 ・行う ・行わない 難燃処理 ・行う ・行わない ホルムアルデヒド放散量等 ※6.5.2(9)による ・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面数</th> <th>見付け材面の品質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※図示</td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> </tr> </table> ・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>品名</th> <th>樹種</th> <th>化粧薄板の厚さ(mm)</th> <th>寸法(mm)</th> <th>見付け材面数</th> <th>見付け材面の品質</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※図示</td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>化粧薄板: 芯材:</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>化粧薄板: 芯材:</td> </tr> </table> 野縁等の種類 (14.4.2)(表14.4.1) 屋内(※19形 ・25形) 屋外(・19形 ※25形) 屋外の軒天井、ピロティ天井等 野縁等の間隔 (14.4.3) <table border="1"> <tr> <th>野縁</th> <th>野縁受</th> <th>つりボルト及びビーンサート</th> <th>周辺部の端からの距離</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ・耐風圧性を考慮した補強 適用箇所: ※図示 補強方法: ※図示 (14.4.4)	施工箇所	樹種	寸法(mm)	※図示	・杉 ・松	※図示	施工箇所	樹種	寸法(mm)	※図示	・杉 ・松	※図示	施工箇所	樹種	寸法(mm)	※図示		※図示	施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質				※図示		※1等 ・2等	施工箇所	品名	樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質					※図示		※1等 ・2等							化粧薄板: 芯材:							化粧薄板: 芯材:	野縁	野縁受	つりボルト及びビーンサート	周辺部の端からの距離																																																																																																																																								
施工箇所	樹種	寸法(mm)																																																																																																																																																																																																							
※図示	・杉 ・松	※図示																																																																																																																																																																																																							
施工箇所	樹種	寸法(mm)																																																																																																																																																																																																							
※図示	・杉 ・松	※図示																																																																																																																																																																																																							
施工箇所	樹種	寸法(mm)																																																																																																																																																																																																							
※図示		※図示																																																																																																																																																																																																							
施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質																																																																																																																																																																																																				
			※図示		※1等 ・2等																																																																																																																																																																																																				
施工箇所	品名	樹種	化粧薄板の厚さ(mm)	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質																																																																																																																																																																																																			
				※図示		※1等 ・2等																																																																																																																																																																																																			
						化粧薄板: 芯材:																																																																																																																																																																																																			
						化粧薄板: 芯材:																																																																																																																																																																																																			
野縁	野縁受	つりボルト及びビーンサート	周辺部の端からの距離																																																																																																																																																																																																						
③ シーリング	シーリング改修工法の種類 [3.1.4][3.7.4~3.7.7][表3.1.2] ・シーリング充填工法 ・ブリッジ工法 ・ボンドブレイカー張り ・エッジング材張り ・シーリング再充填工法 ・拡張シーリング再充填工法	12 高日射反射率塗料塗り	⑤ 内装改修工事 1 他の部位との取合い等 [6.1.3] 撤去壁と取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※図示 ・壁厚程度 天井内の撤去壁と取合う天井の改修範囲 ※図示 ・壁面から両側600程度 撤去天井と取合う壁の改修範囲 ※図示 ・既存のまま 各部仕上げは、既存仕上げに準じたものとする 2 既存床の撤去及び下地補修 [6.2.2] ・ビニル床シート等の除去等 ※仕上げ材のみ(接着剤等共) ・下地モルタル共(撤去範囲: ※図示 ・撤去範囲すべて) ・合成樹脂塗床材の除去等 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 改修後の床の清掃範囲 ※改修部分の端部から1.0m程度の範囲(工事で汚した範囲共) 3 既存壁の撤去及び下地補修 [6.3.2] 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※図示 ・モルタル塗り([4.3.10]による) 4 ホルムアルデヒド放散量 [6.5.2] ※6.5.2(9)のいずれかによる。 5 目視検査 [6.5.2] 日本農林規格以外の製材及び集成材について、目視による材の欠点がないことの確認は、 樹種ごとに無作為に抽出し、その抽出割合は10%以上とする。 6 製材 [6.5.2] ・下地用針葉樹製材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> </tr> <tr> <td>※図示</td> <td>・杉 ・松</td> <td>※図示</td> </tr> </table> 等級 日本農林規格を使用する場合: ・1級 ※2級 日本農林規格以外を使用する場合: ※特1等 ・1等 含水率 ※15%以下 保存処理 ・行う ・行わない 防虫処理 ・行う ・行わない 難燃処理 ・行う ・行わない ・造作用針葉樹製材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法(mm)</th> </tr> <tr> <td>※図示</td> <td>・杉 ・松</td> </tr></table>	施工箇所	樹種	寸法(mm)	※図示	・杉 ・松	※図示	施工箇所	樹種	寸法(mm)	※図示	・杉 ・松																																																																																																																																																																																											
施工箇所	樹種	寸法(mm)																																																																																																																																																																																																							
※図示	・杉 ・松	※図示																																																																																																																																																																																																							
施工箇所	樹種	寸法(mm)																																																																																																																																																																																																							
※図示	・杉 ・松																																																																																																																																																																																																								

工事概要

1. 庁舎改修

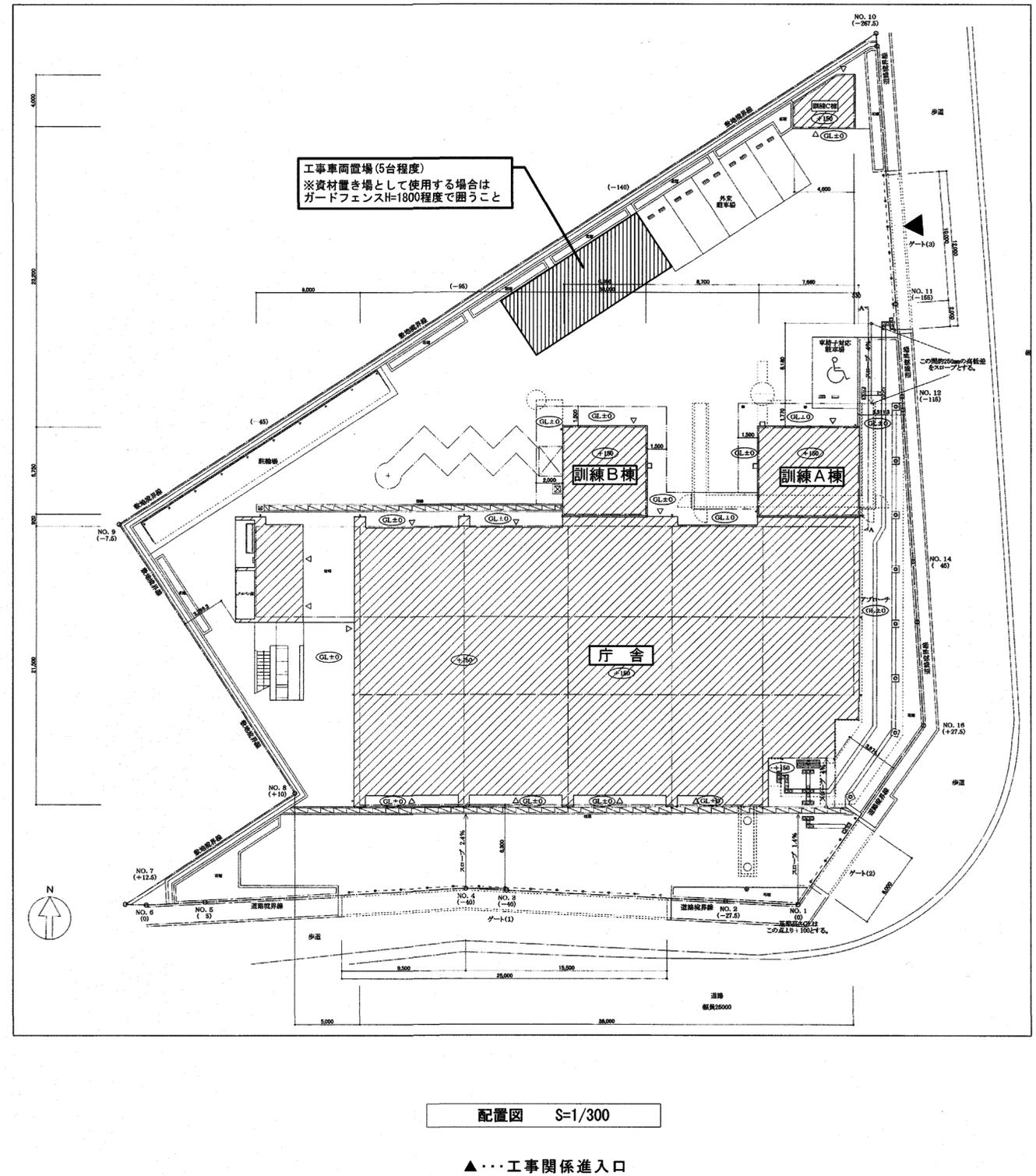
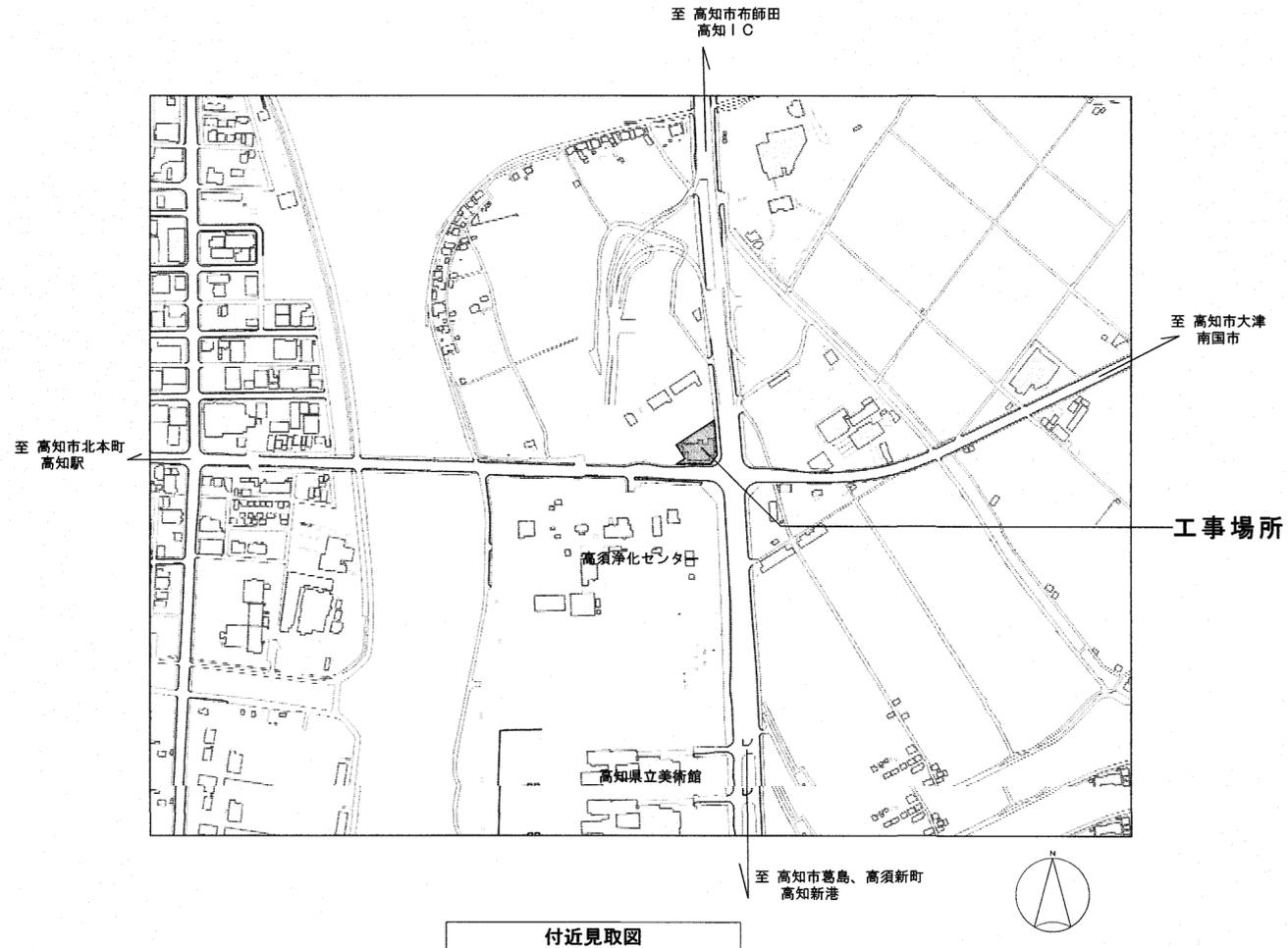
- 階段(1) 内部 ロープ吊金物取替え

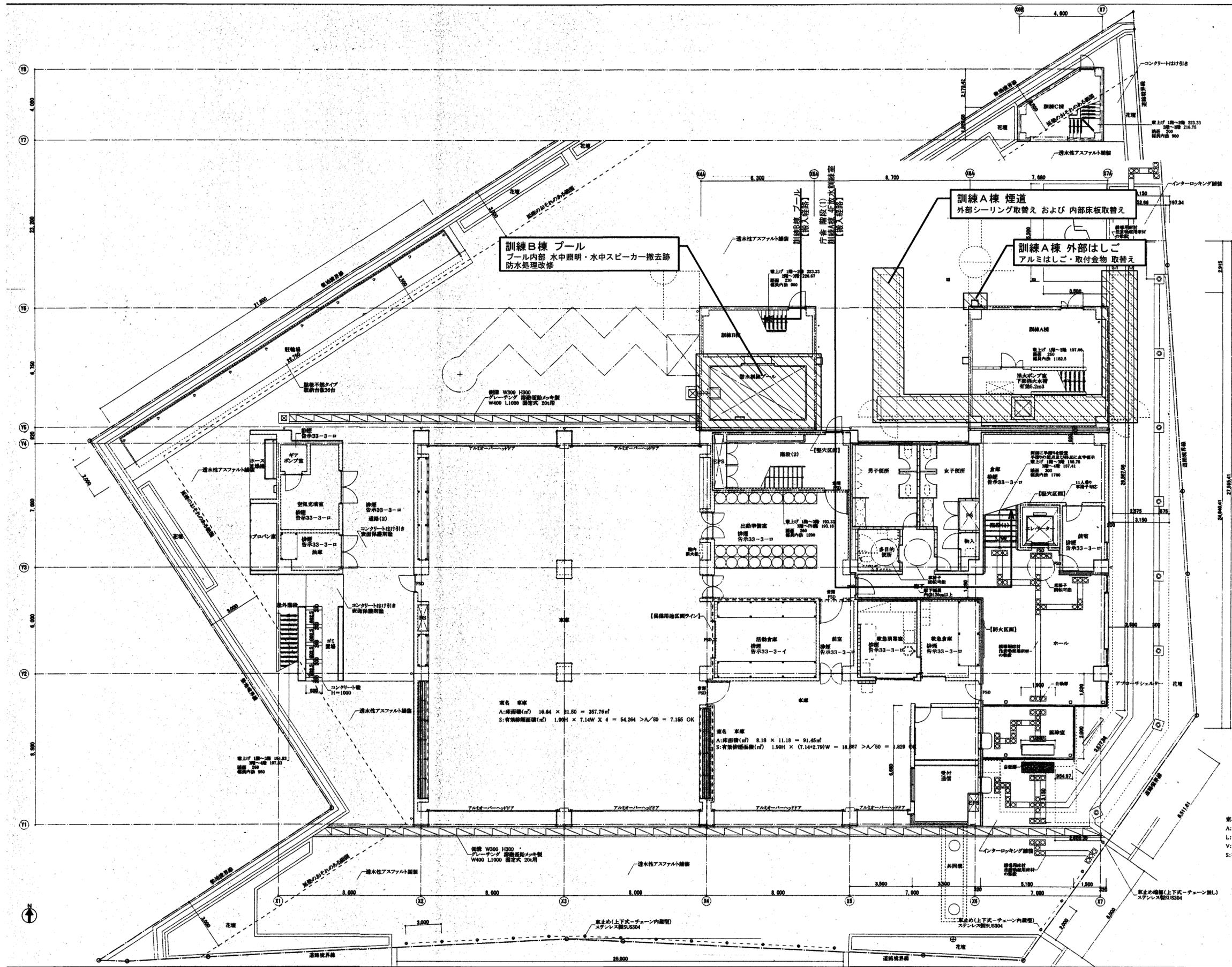
2. 訓練A棟改修

- 外部 アルミはしご・取付金物 取替え
- 煙道 外部シーリング取替え および 内部床板取替え
- 4階 放水訓練室 床防水改修 および 天井改修

3. 訓練B棟改修

- プール内部 水中照明・スピーカー撤去跡 防水改修





全体1階平面図 S:1/150

備考【 】記載なきものは既存のままとする

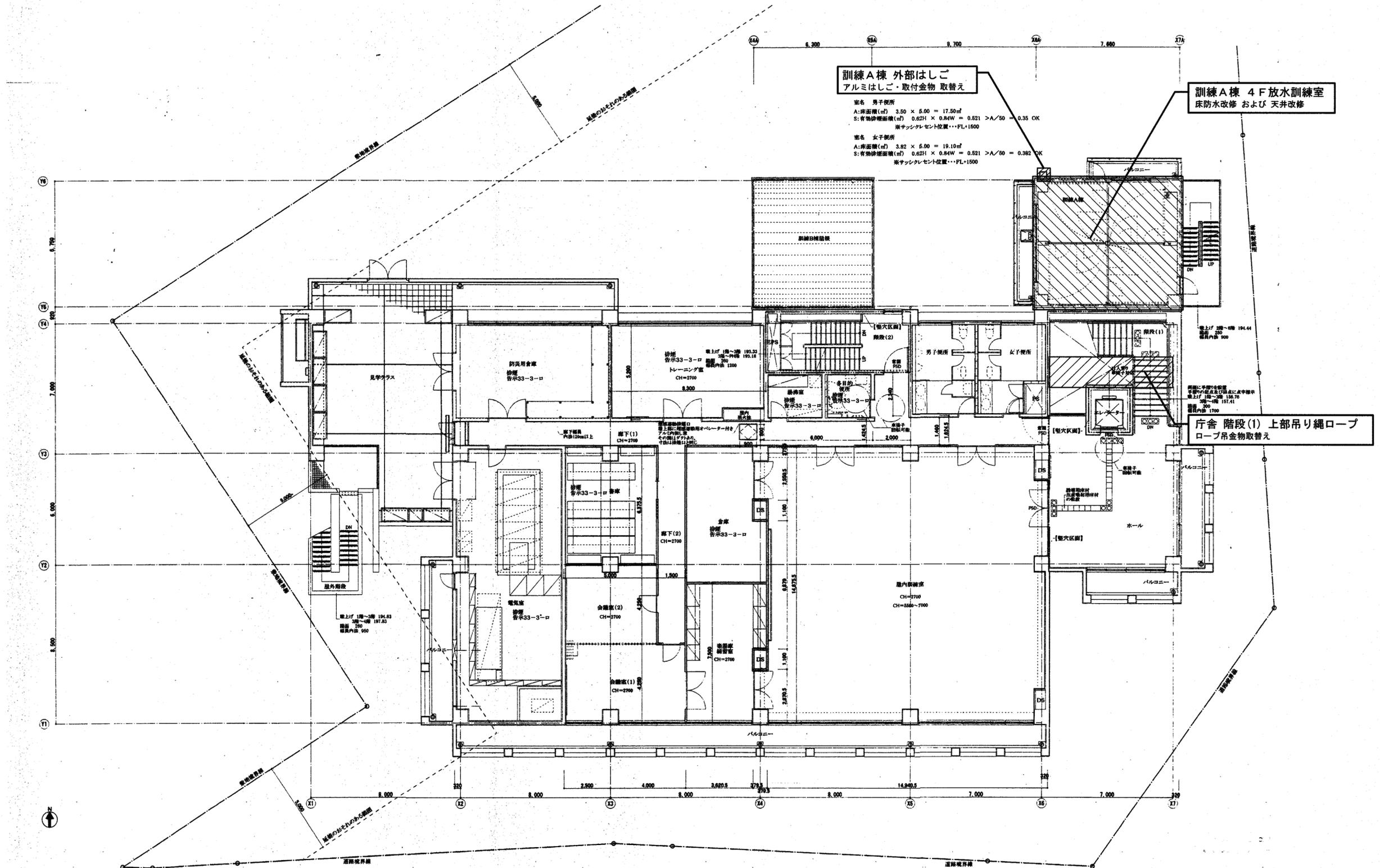
Project Name
東消防署訓練設備改修工事

イサナ創庵
Architect&Design
高知市前野西町1丁目29-12-7 TEL 088-845-0137
事務所登録 高知県 第1944号 二級建築士 高知県知事登録 第4982号 西岡 英人

Name
全体1階平面図
Date
2025/2/3
Draw
Scale
1/150

係	係長	課長補佐	課長	A
				06

A2→A3縮小 (71%)



全体4階平面図 S:1/150

備考【 】記載なきものは既存のままとする

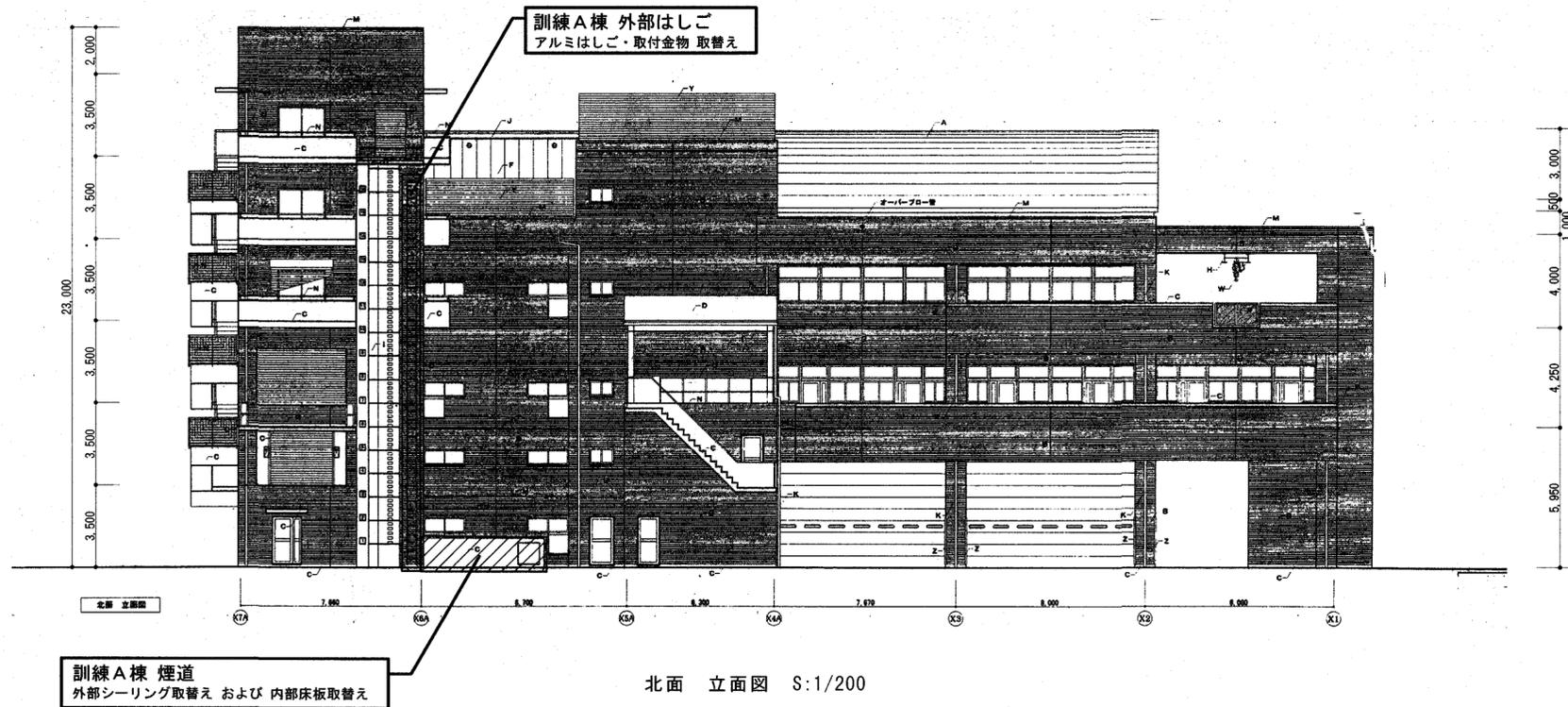
Project Name
東消防署訓練設備改修工事

イサナ創庵
Architect&Design
高知市前野西町1丁目29-12-7 TEL.088-845-0137
事務所登録 高知県 第1944号 二級建築士 高知県知事登録 第4982号 西岡 英人

Name
全体4階平面図
Date
2025/2/3
Draw
Scale
1/150

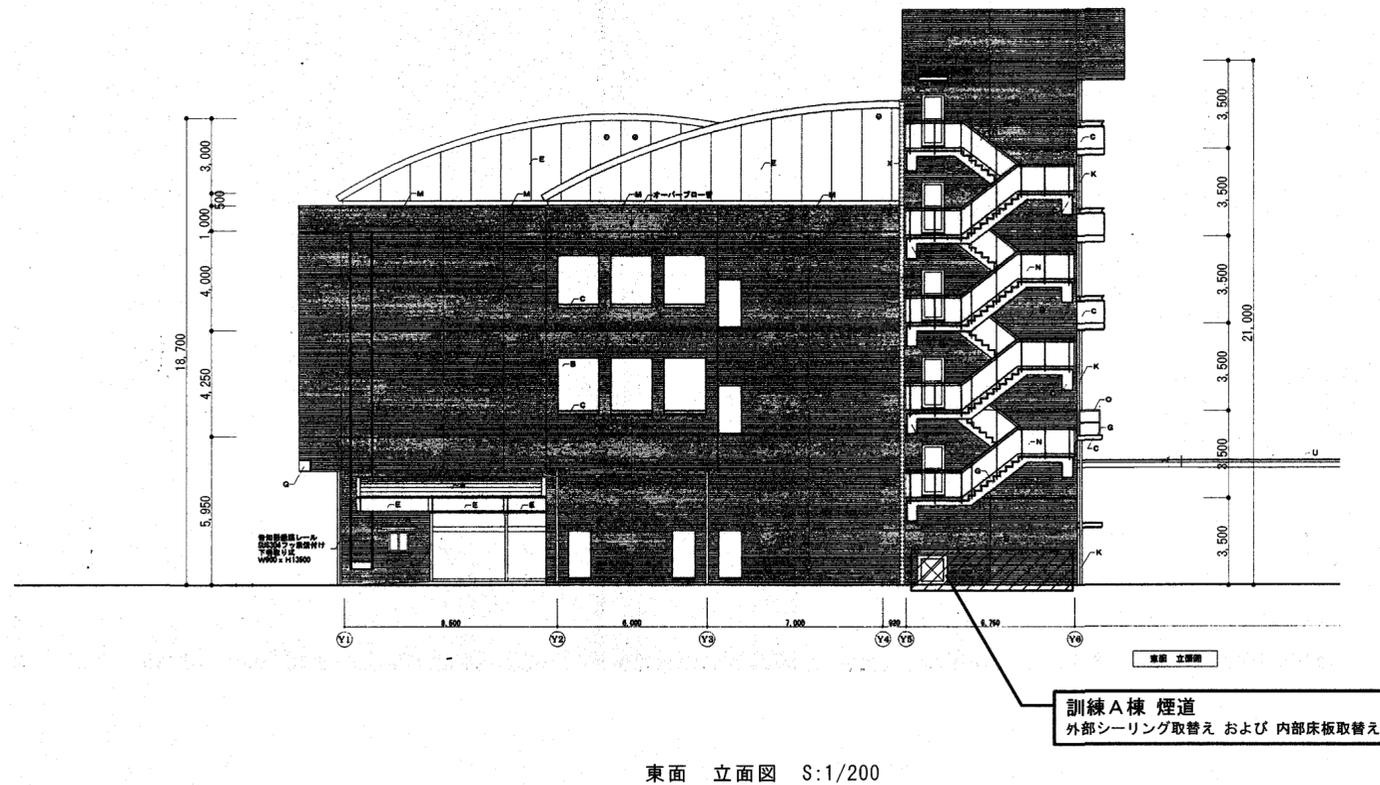
保	係長	課長補佐	課長	A
				07

A2→A3縮小 (71%)



訓練A棟 煙道
外部シーリング取替え および 内部床板取替え

北面 立面図 S:1/200



訓練A棟 煙道
外部シーリング取替え および 内部床板取替え

東面 立面図 S:1/200

備考 【 】記載なきものは既存のままとする

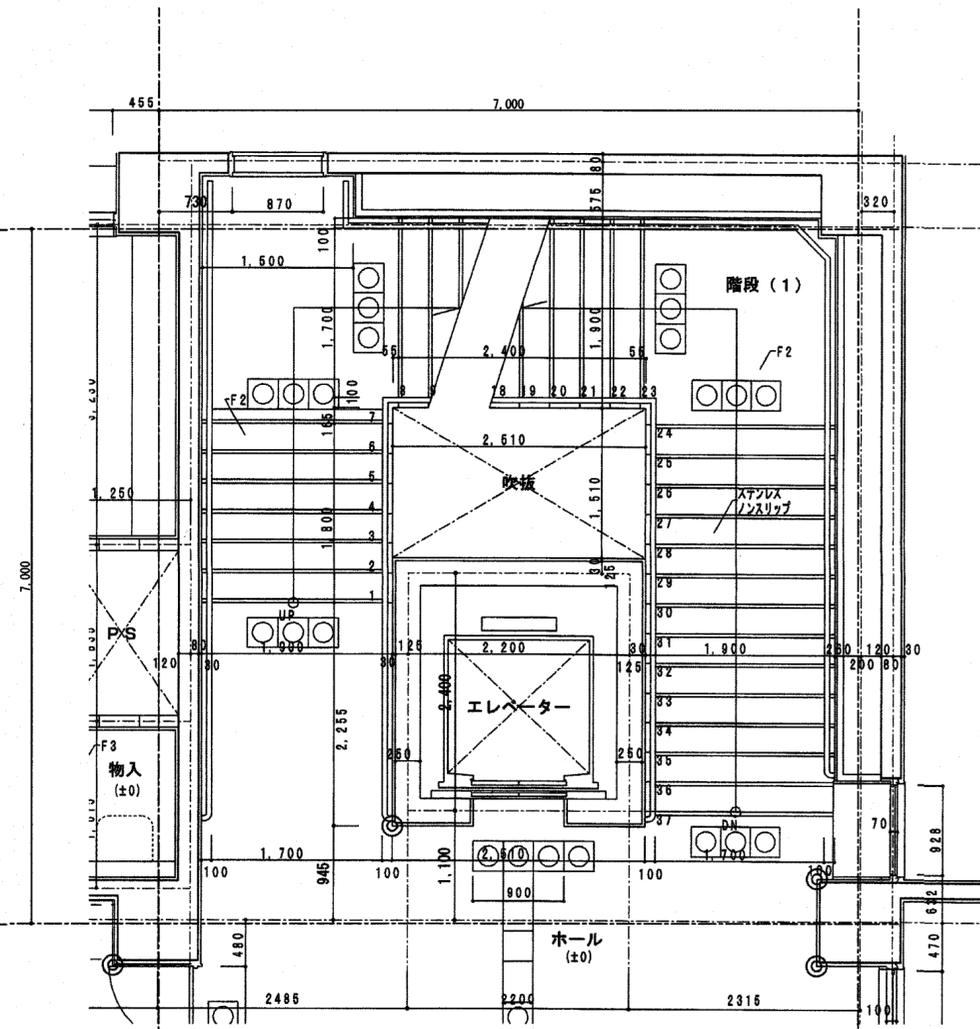
Project Name
東消防署訓練設備改修工事

イサナ創庵
Architect&Design
高知市前野西町1丁目29-12-7 TEL 088-845-0137
事務所登録 高知県 第1944号 二級建築士 高知県知事登録 第4982号 西岡 英人

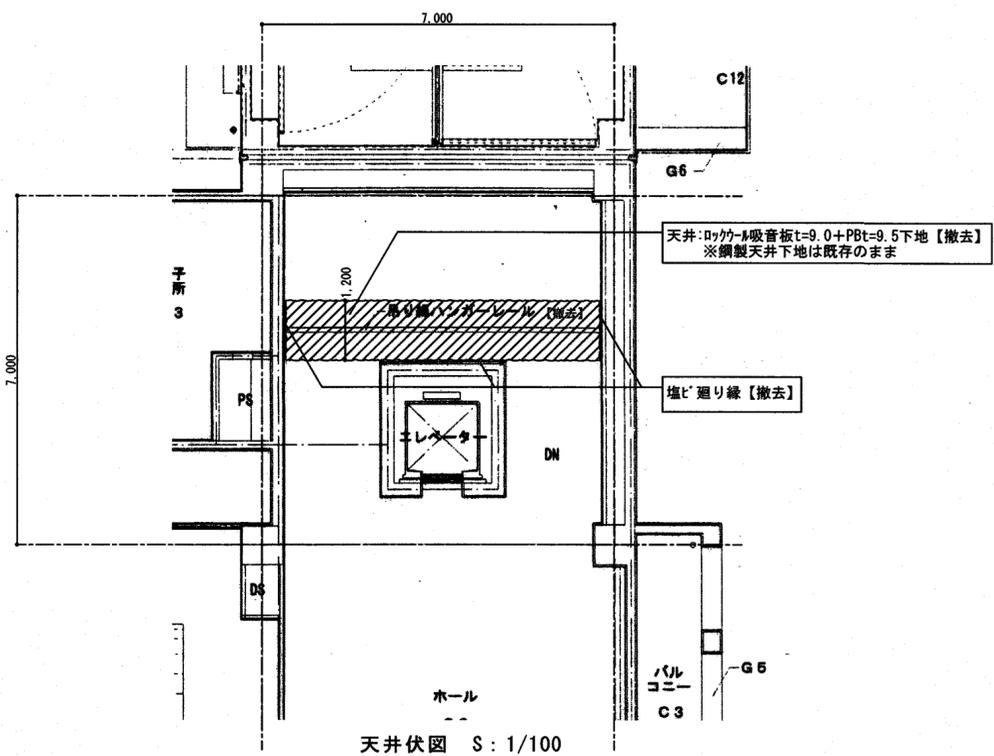
Name
立面図
Date
2025/ 2/ 3
Draw
Scale
1/200

係	係長	課長補佐	課長

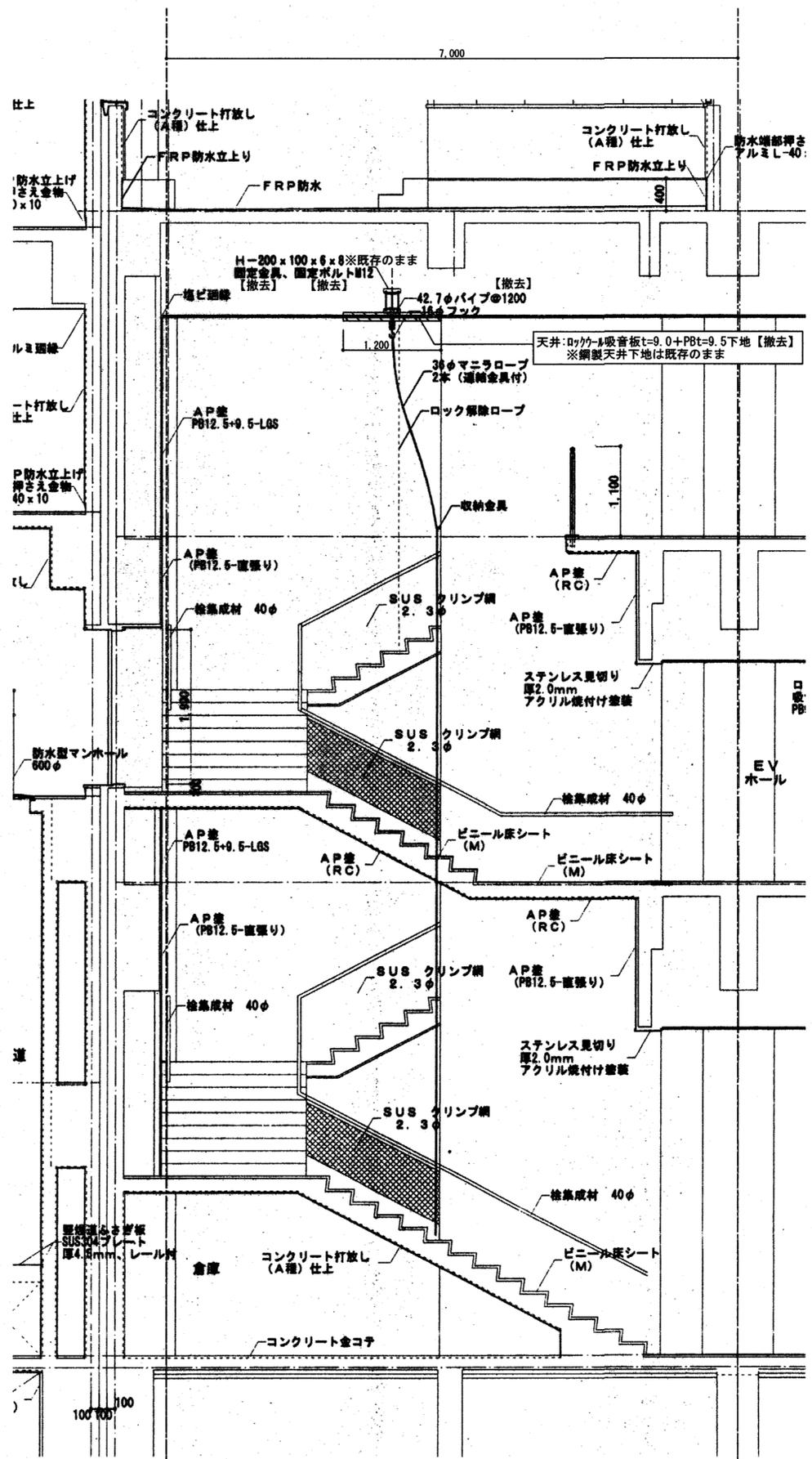
A2→A3縮小 (71%)
A
08



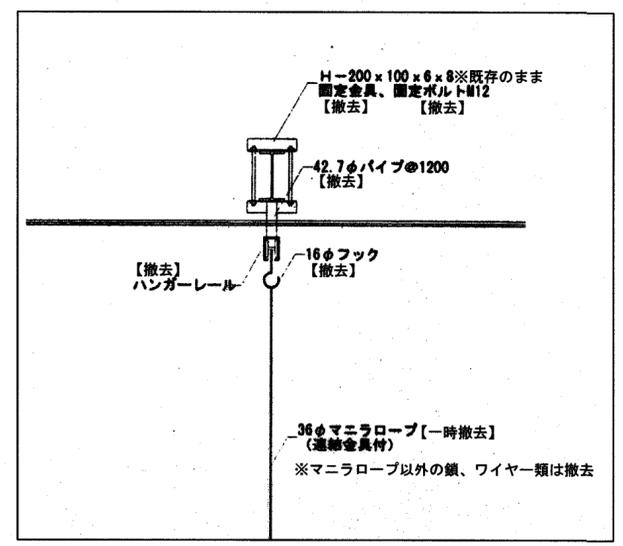
平面詳細図 S: 1/50



天井伏図 S: 1/100



断面詳細図 S: 1/50

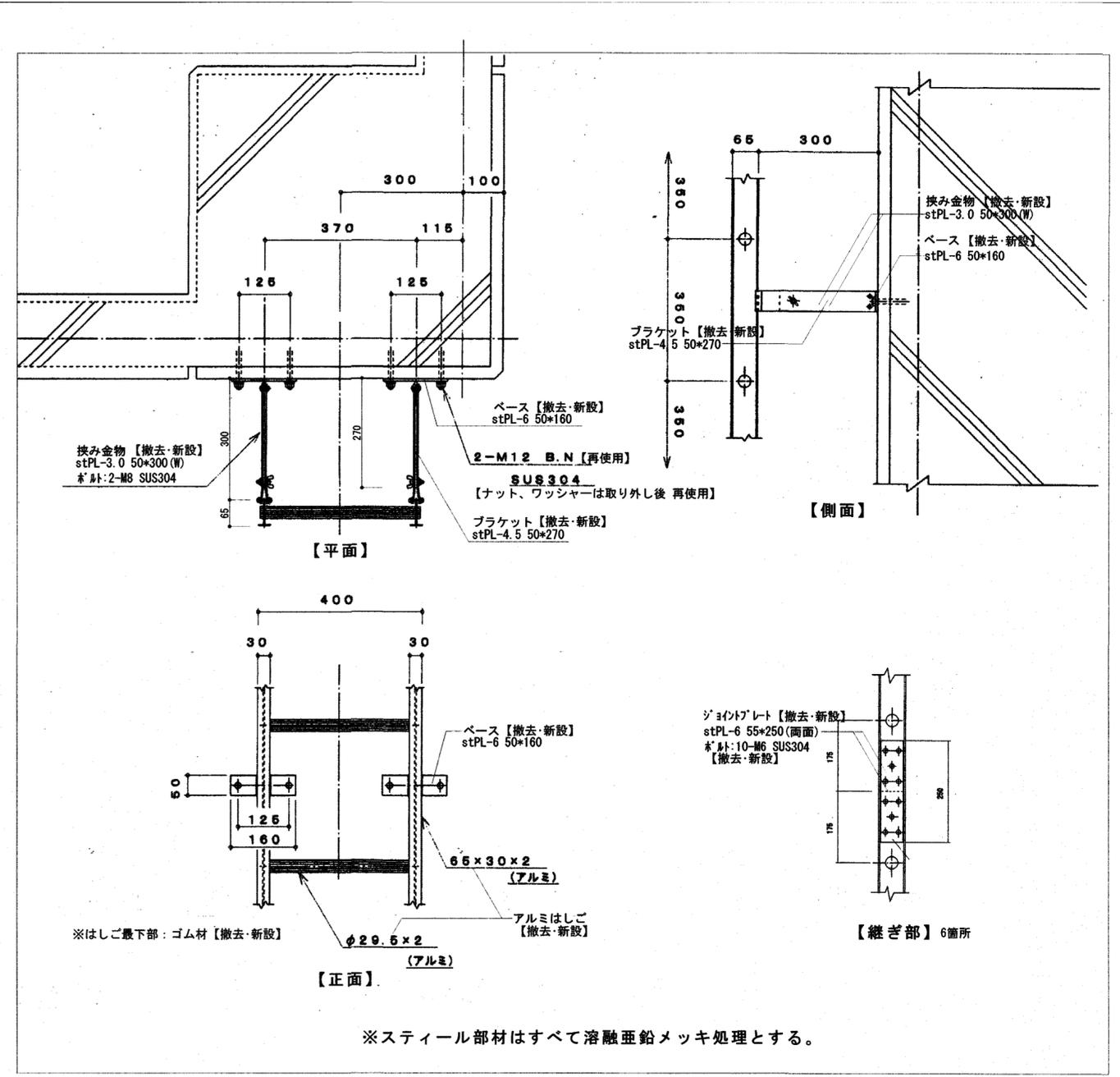
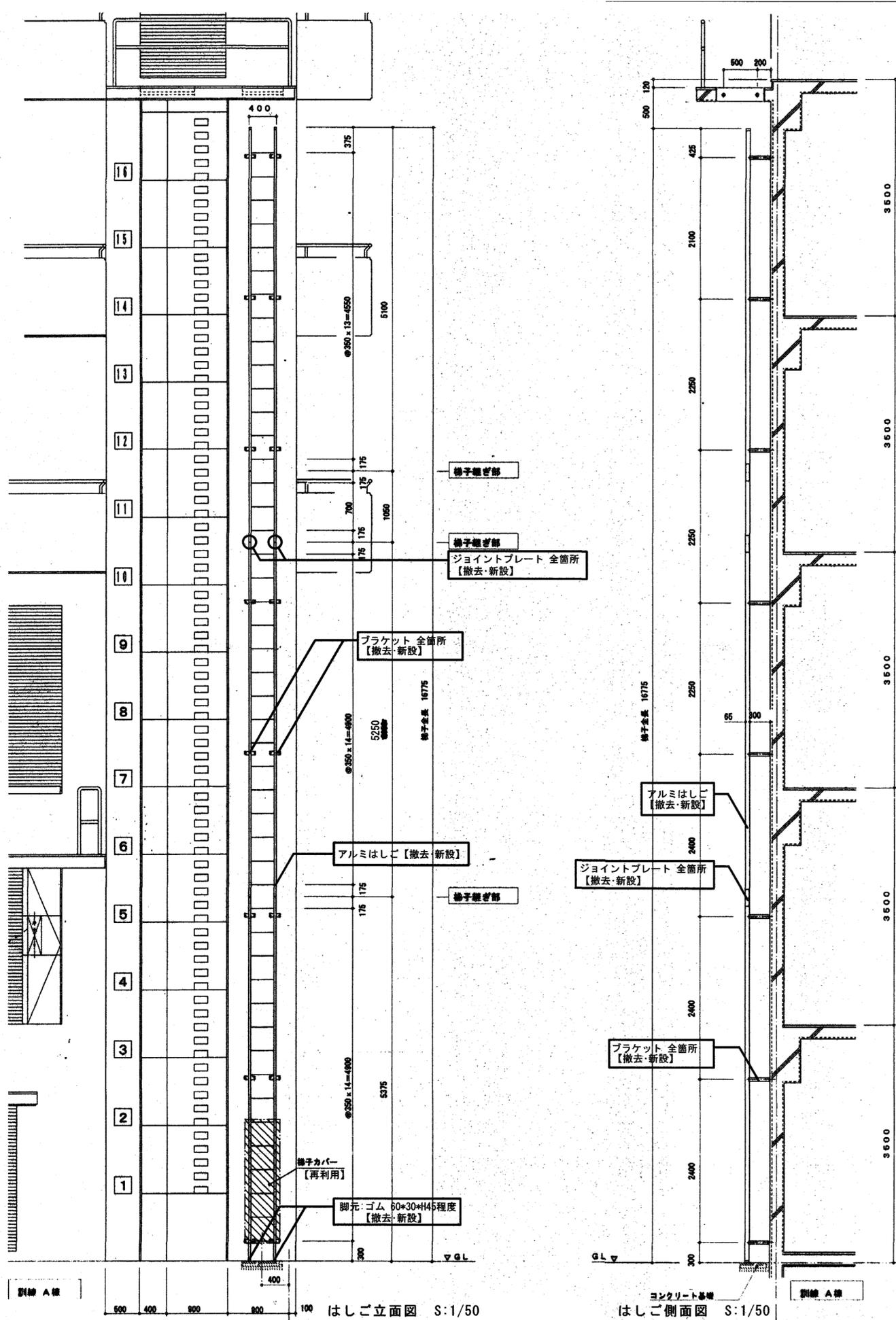


吊りフック詳細図 S: 1/20

- 階段ホール 改修メニュー
- ・天井ロープ吊り金物【撤去・新設】
 - ・天井取り付け部【撤去・改修】

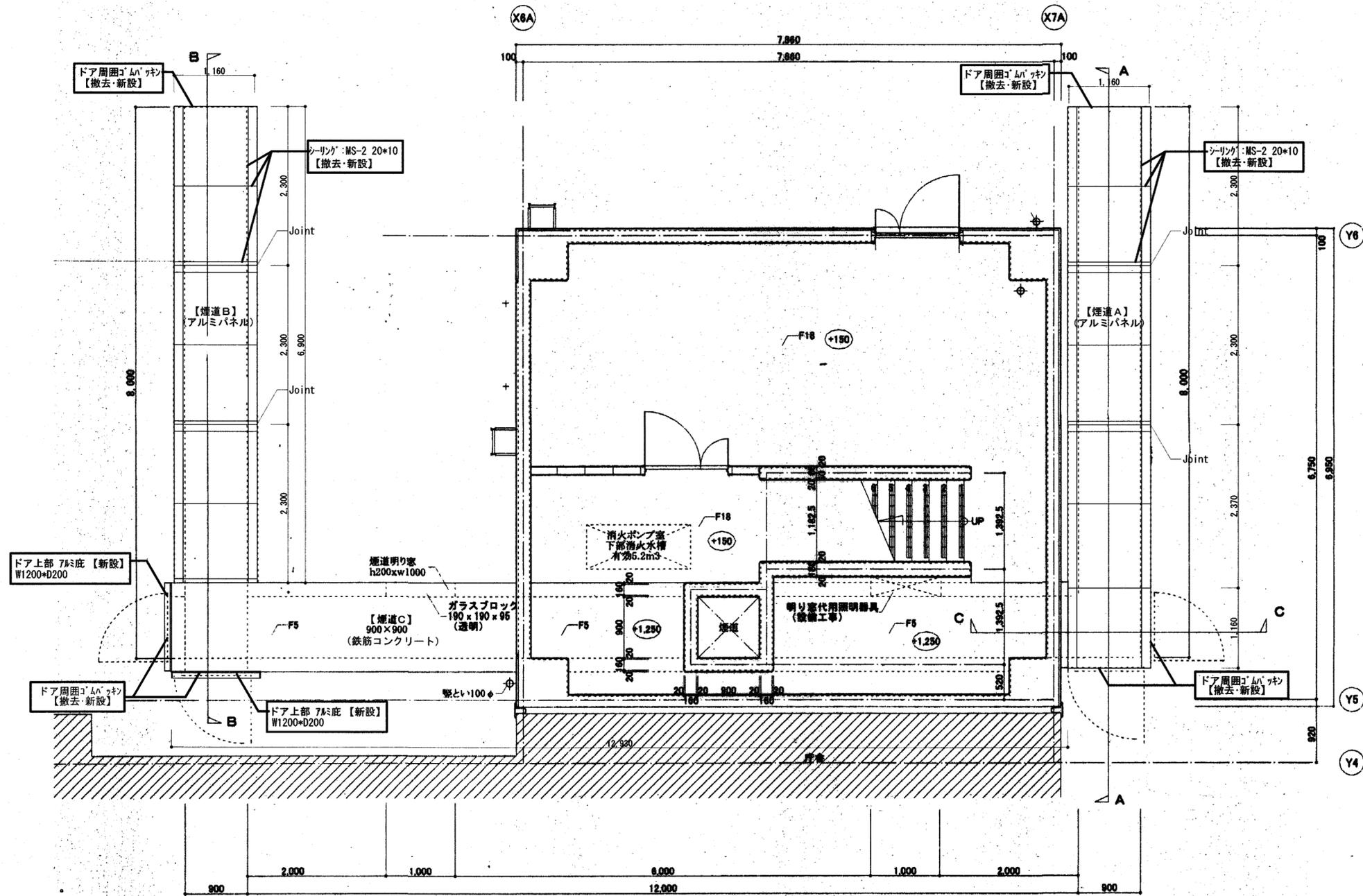
備考【 】記載なきものは既存のままとする

A2→A3縮小 (71%)

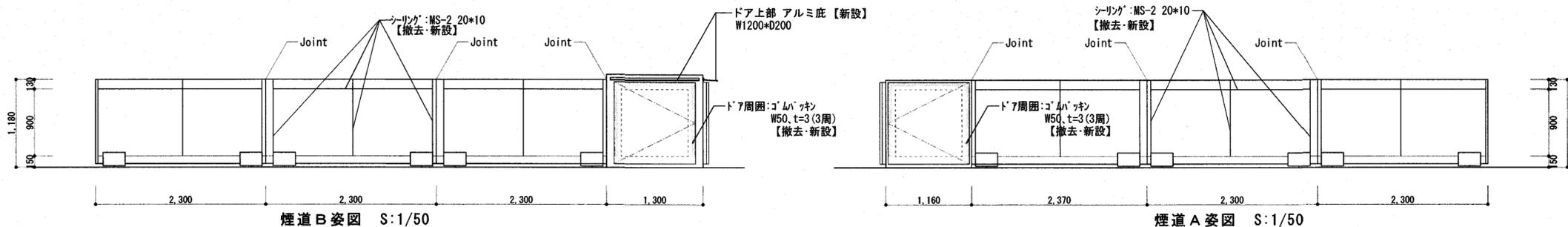


はしご詳細図 S:1/10

- 梯子登はん訓練用アルミはしご 改修メニュー
- ・ 既存アルミはしご【撤去・新設】
 - ※足元コンクリート基礎【既存のまま】
 - ※下部カバー【再利用】
 - ・ はしご継ぎ部 スチールジョイント金物【撤去・新設】
 - ※ボルト【撤去・新設】
 - ・ スチールブラケット・挟み金物・ベース【撤去・新設】
 - ※各部ボルト【撤去・新設】



煙道全体平面図 S:1/50



煙道B姿図 S:1/50

煙道A姿図 S:1/50

※煙道外部全体 施工に先立ち水洗いを行う。

■煙道A・B・C 改修メニュー

- ・外装アルミパネル・RC面【水洗い】
- ・外装アルミパネルシーリング【撤去・新設】
※外部のみ
- ・出入口ドア上部 アルミ庇(2ヶ所)【新設】
- ・出入口ドアのゴムパッキン(6ヶ所)【撤去・新設】
- ・内部床 しな合板t=4.0(シーリングにて接着)【撤去・新設】

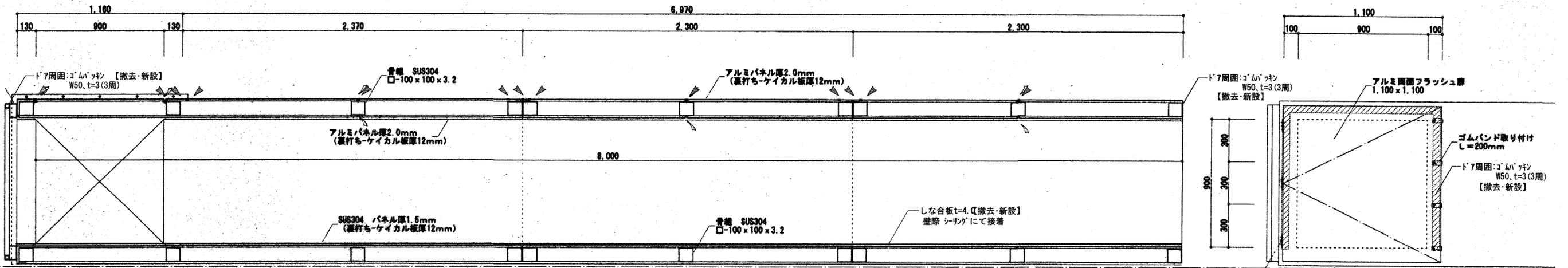
備考 【 】記載なきものは既存のままとする

Project Name
東消防署訓練設備改修工事

イサナ創庵
Architect&Design
高知市菊野西町1丁目29-12-7 TEL.088-845-0137
事務所登録 高知県 第1944号 二級建築士 高知県知事登録 第4982号 西岡 英人

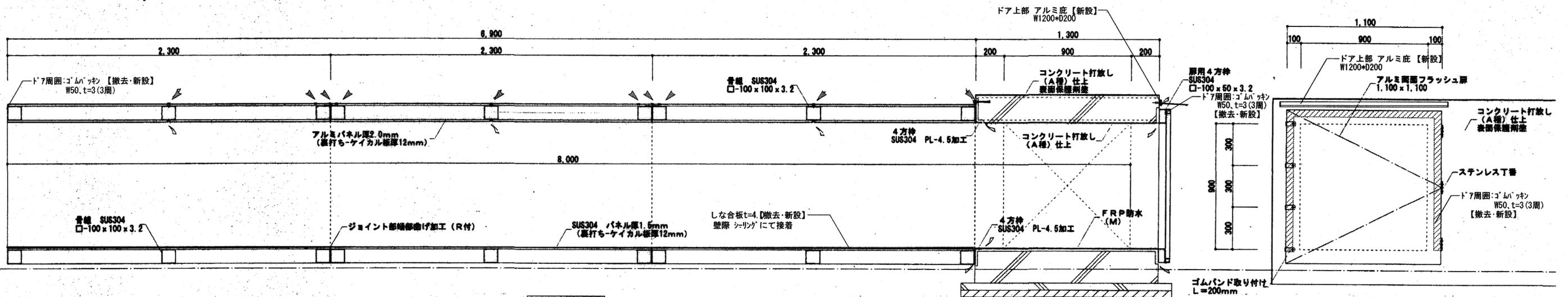
Name
【訓練A棟】煙道 詳細図01(撤去・改修)
Date 2025/ 2/ 3
Draw
Scale 1/50

A2→A3縮小(71%)
係 係長 課長補佐 課長
A
12



A 断面図

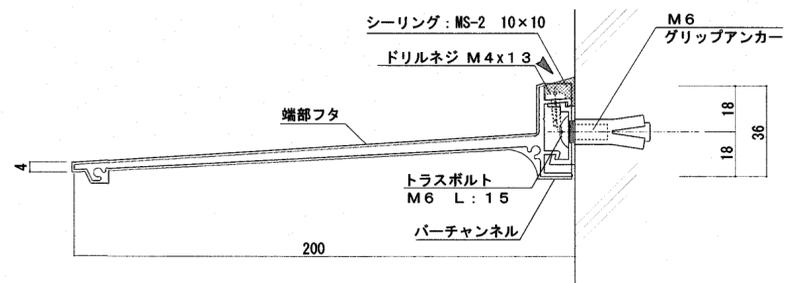
パネル継ぎ目部突き当り防止部 一計 2箇所



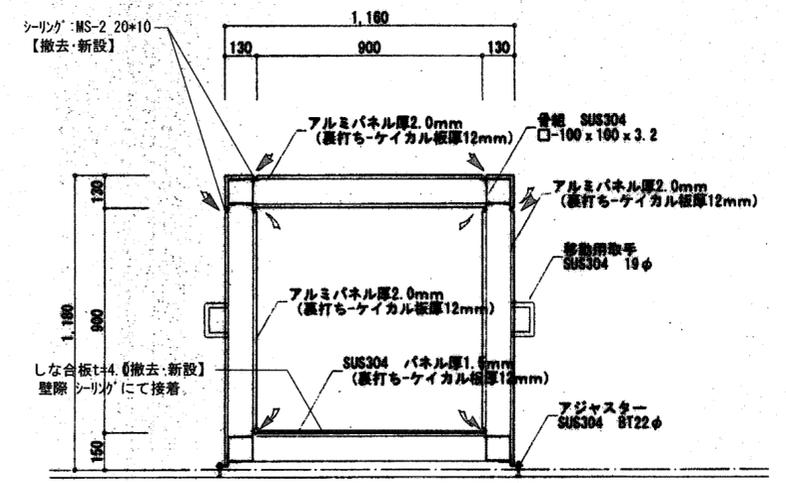
B 断面図

RC煙道部突き当り防止部 一計 2箇所

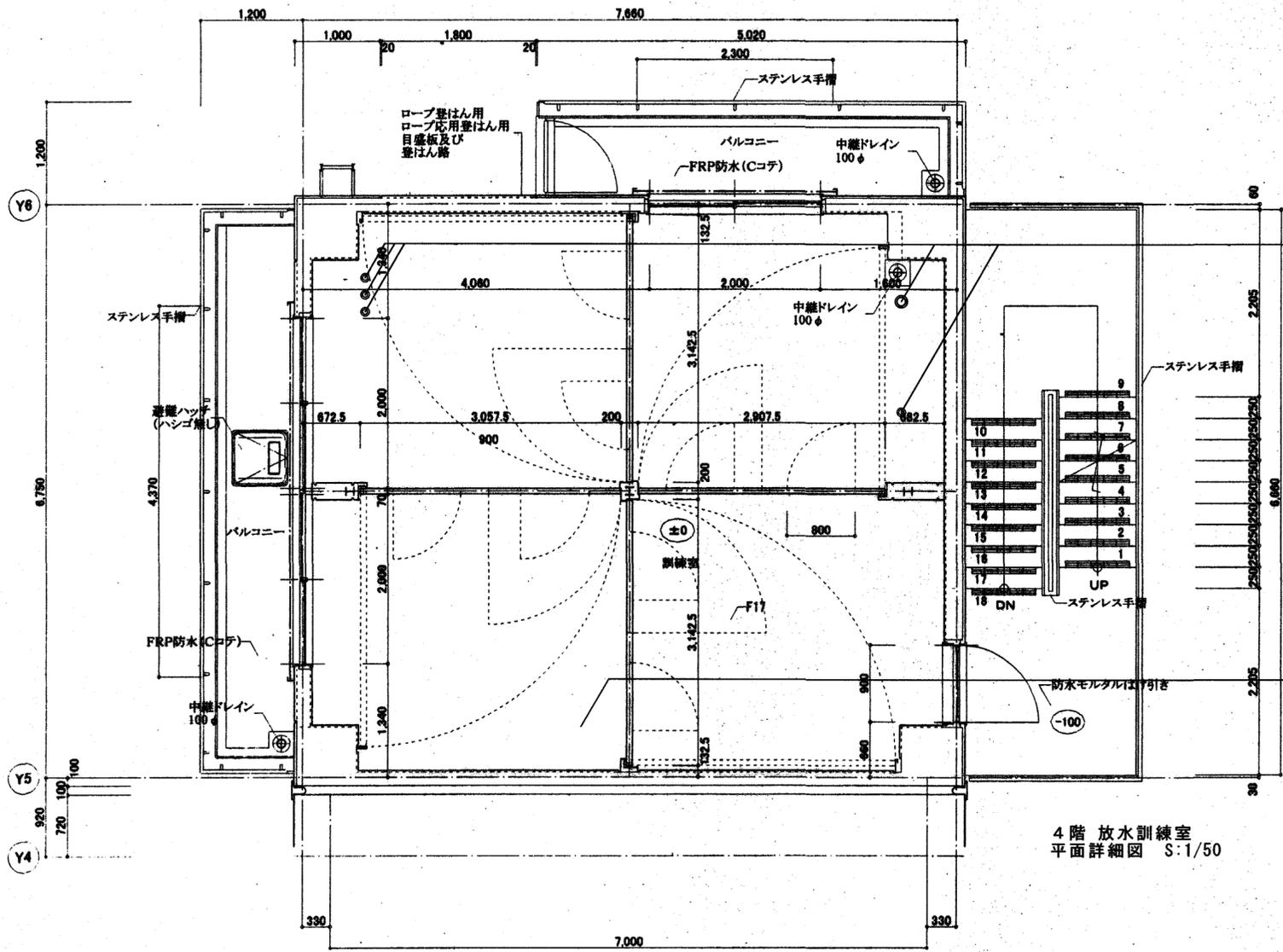
煙道 断面図 S:1/20



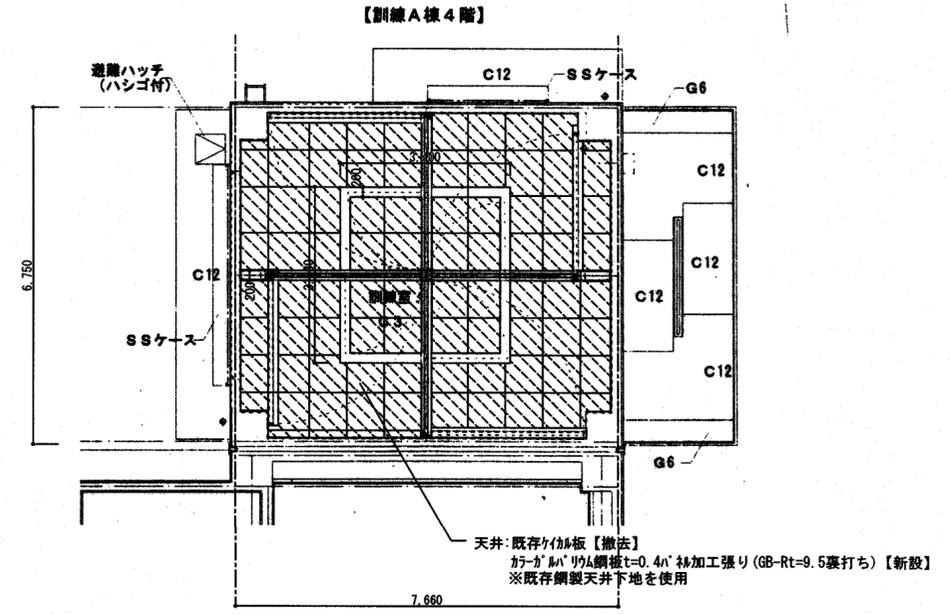
アルミ底 参考図 S:1/2



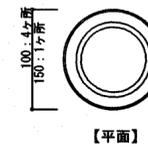
A2→A3縮小 (71%)



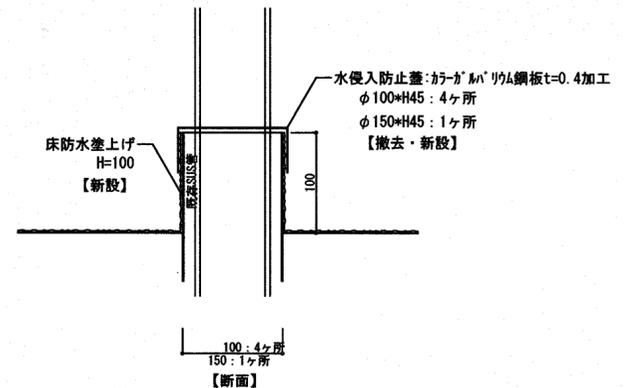
4階放水訓練室
平面詳細図 S:1/50



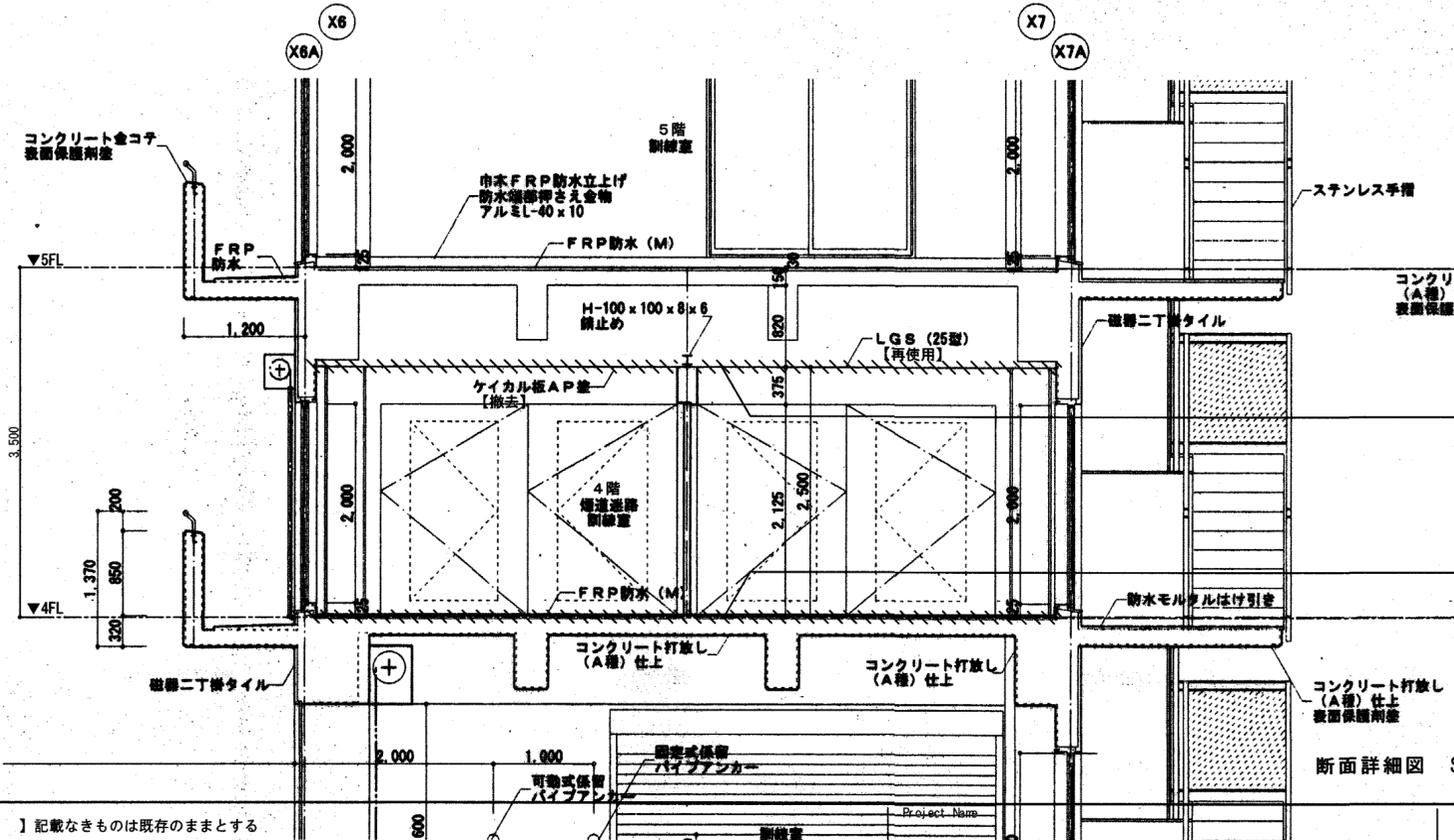
天井伏図 S:1/100



【平面】



既存設備配管 床取合い部 改修詳細図 S:1/5



断面詳細図 S:1/50

既存配管取合い部防水仕上げ【新設】

床・中木: 既存FRP防水ケレン・清掃の上
ウレタン塗膜防水【新設】

ケイカル板AP塗【撤去】
※鋼製天井下地は既存のまま
※別途 電気設備工事に照明を撤去
カラーガルバウム鋼板t=0.4mm 裨加工張り (GB-Rt=9.5裏打ち)【新設】
※既存鋼製天井下地を使用

床・中木: 既存FRP防水ケレン・清掃の上
ウレタン塗膜防水【新設】

■ 4F放水訓練室 改修メニュー

- ・床 : 既存FRP防水ケレン・清掃の上、ウレタン塗膜防水【新設】
- ・中木: H=90 既存FRP防水ケレン・清掃の上、ウレタン塗膜防水【新設】
※既存押えアングル面も清掃の上、ウレタン塗膜防水【新設】
- ・壁: 既存のまま
- ・天井: 既存ケイカル板t=6.0(目掛)、塩ビ廻り縁【撤去】
※別途 電気設備工事に照明を撤去
カラーガルバウム鋼板t=0.4mm 裨加工 (GB-Rt=9.5裏打ち) 張り【新設】
7mm廻り縁 (コ型・9.5mm用・見付10)【新設】
※既存鋼製天井下地を使用

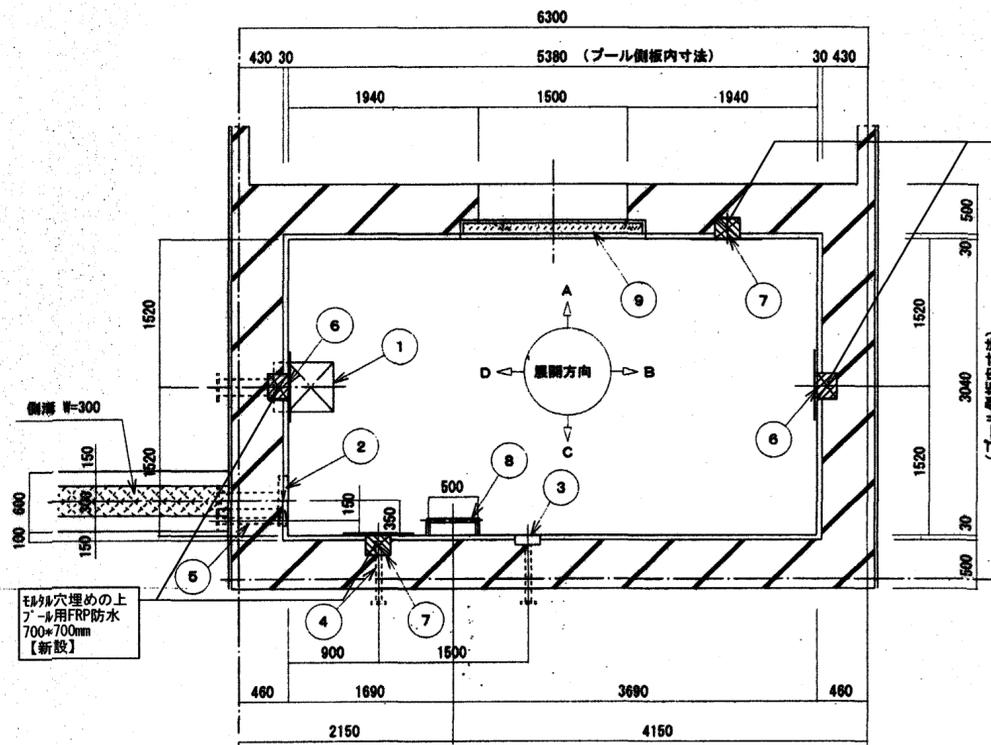
備考 【 】記載なきものは既存のままとする

A2→A3縮小 (71%)

東消防署訓練設備改修工事

イサナ創庵
Architect&Design
高知市前野西町1丁目29-12-7 TEL.088-845-0137
事務所登録 高知県 第1944号 二級建築士 高知県知事登録 第4982号 西岡 英人

Name	【訓練A棟】4階放水訓練室詳細図(撤去・改修)				A
Date	2025/ 2/ 3	Draw	Scale	1/100.50.5	
係	係長	課長補佐	課長	14	



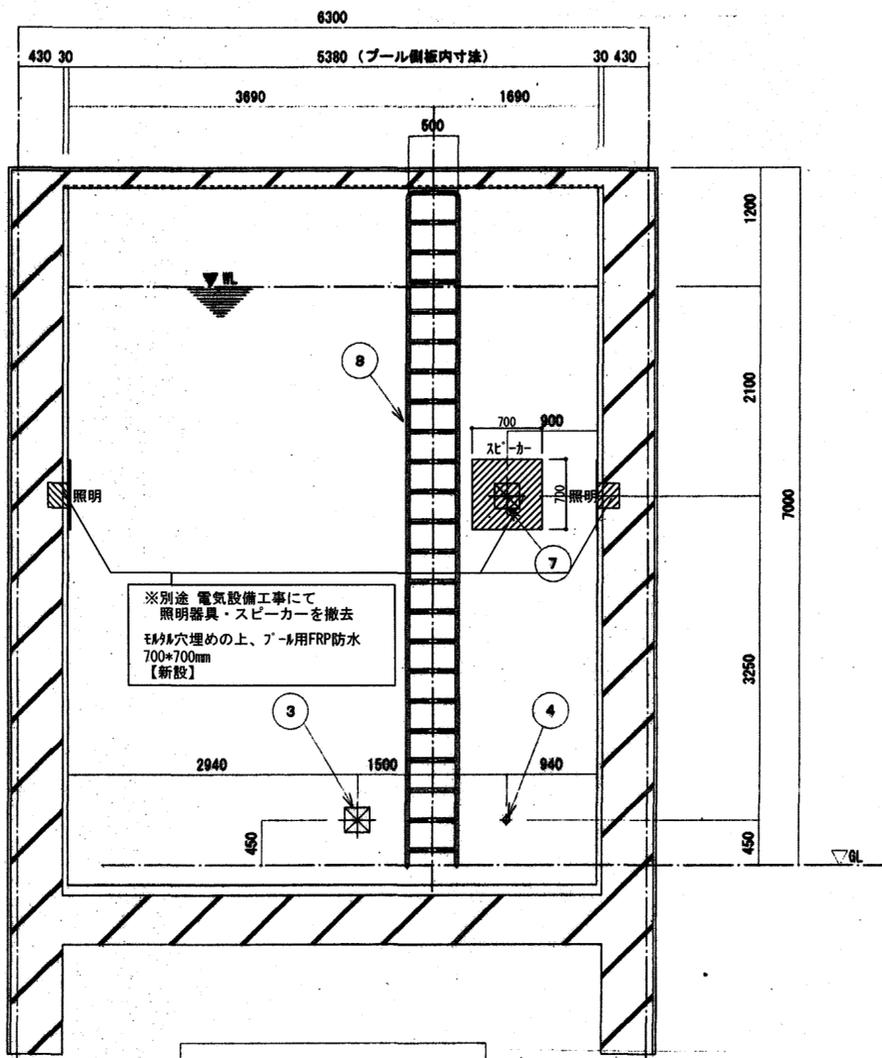
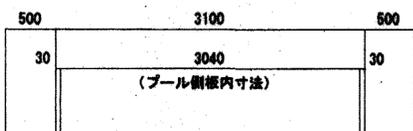
訓練棟 B プール平面図 S:1/50

モルタル埋めの上
プール用FRP防水
700*700mm
【新設】

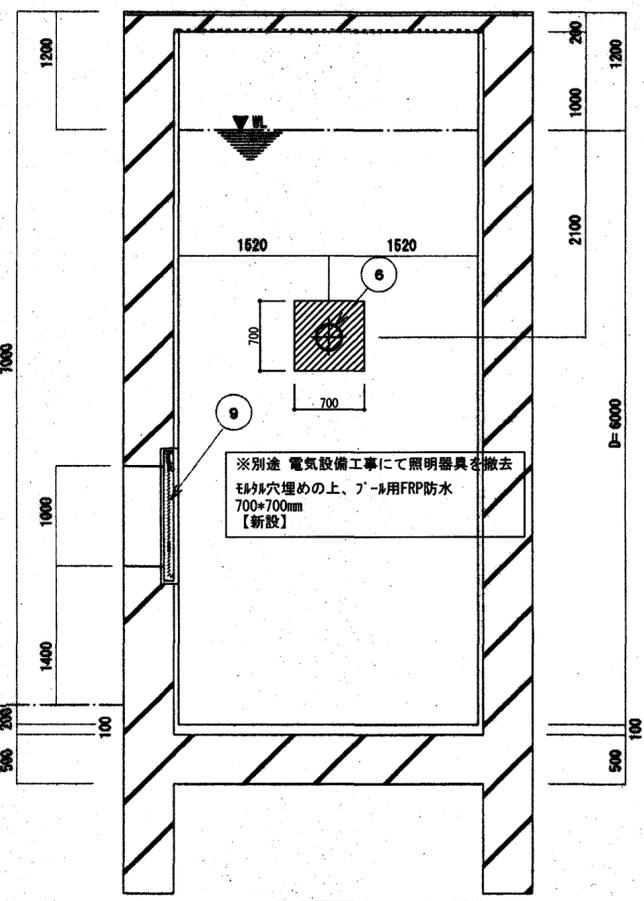
■訓練棟 B プール改修メニュー

- ・床 : 既存のまま
- ・壁 : ⑥水中照明撤去(別途電気設備工事)跡
モルタル詰めの上、FRP防水補修
700*700mm(2箇所)【新設】
⑦水中スピーカー撤去(別途電気設備工事)跡
モルタル詰めの上、FRP防水補修
700*700mm(2箇所)【新設】
- ・天井 : 既存のまま

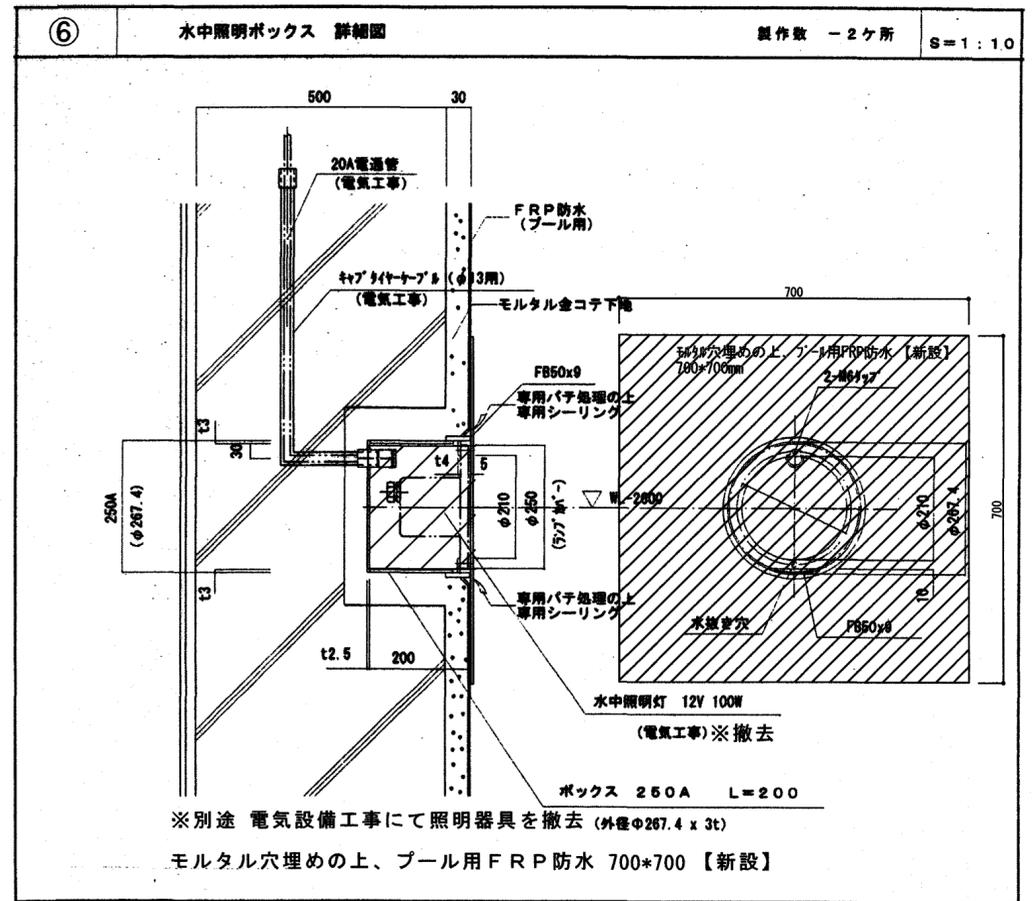
(プール側壁内寸法)



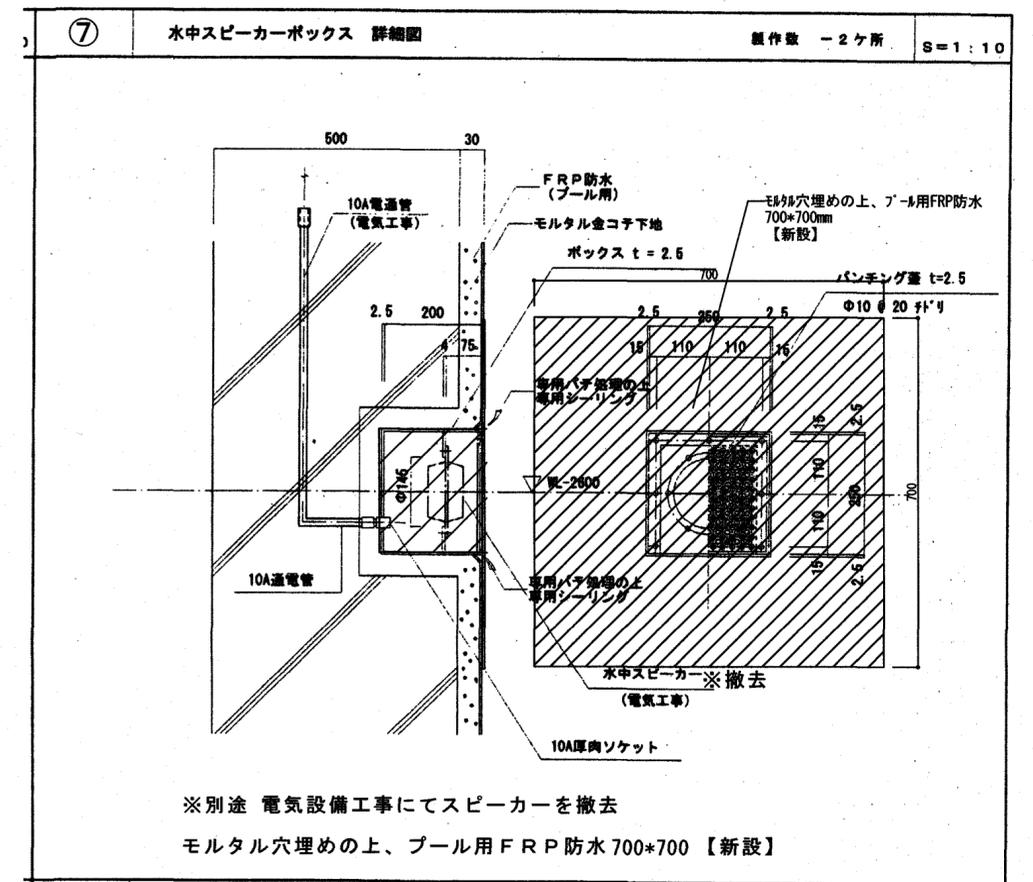
C 立面図 1/50



B 立面図 S:1/50



※別途 電気設備工事にて照明器具を撤去 (外径φ267.4 x 3t)
モルタル穴埋めの上、プール用FRP防水 700*700【新設】



※別途 電気設備工事にてスピーカーを撤去
モルタル穴埋めの上、プール用FRP防水 700*700【新設】

備考 【 】記載なきものは既存のままとする
プール用FRP防水は、メーカーの使用による。